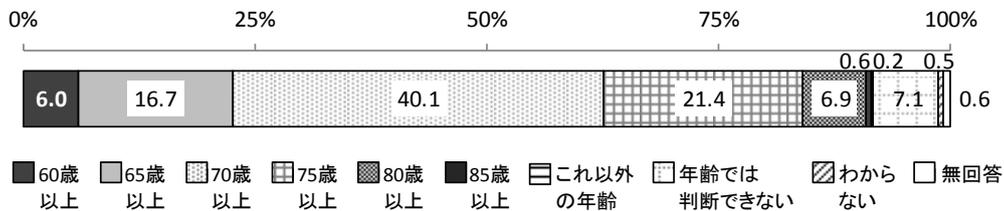


第4章 超高齢社会のまちづくり

4-1 高齢者のイメージ

「70歳以上」を高齢者だと思いが最も高い。

問19 あなたは、一般的に何歳頃から高齢者だと思いますか。(あてはまる番号に1つだけ○印)



◆属性別特徴

【性別】男女とも「70歳以上」が最も高い。

【性別・年齢別】男女とも全ての年齢層で「70歳以上」が最も高いが、年齢が下がるほど高齢者だと思う年齢が低くなる傾向にあり、特に20歳代で男女とも「60歳以上」が約2割で他の年齢層より高い。

【職業別】農林漁業は「80歳以上」が1割を超えて他の職業より高い。学生は「60歳以上」「65歳以上」がそれぞれ2割を超えて他の職業より高く、「65歳以上」は給与所得者でも2割を超えている。

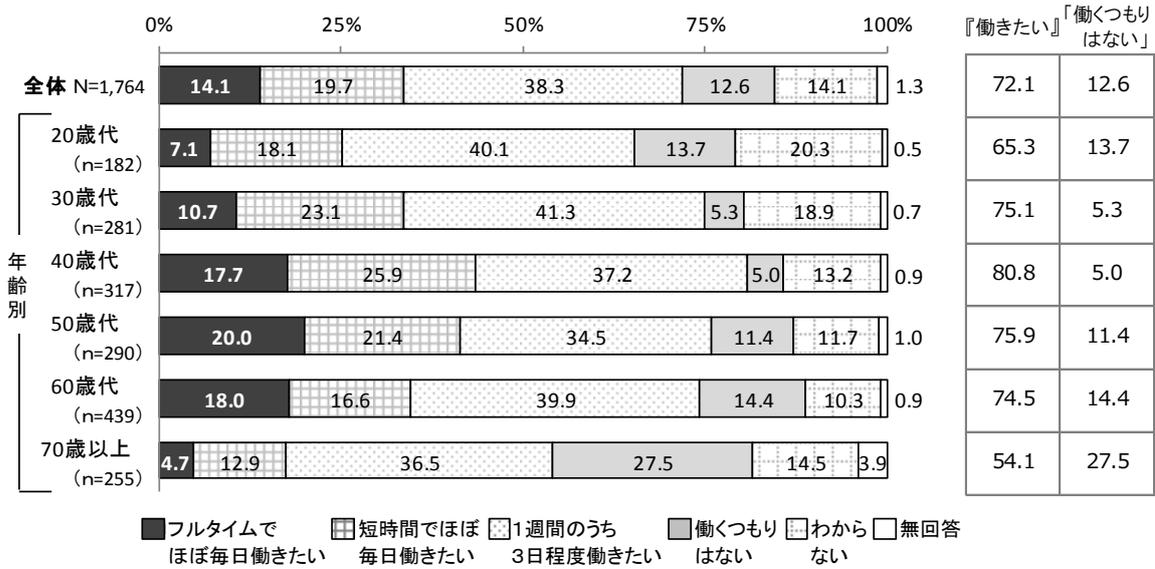
	標本数 (票)	何歳頃から高齢者だと思うか (%)									
		60歳以上	65歳以上	70歳以上	75歳以上	80歳以上	85歳以上	これ以外の年齢	年齢では判断できない	わからない	無回答
全体 (カッコ内は標本数)	100.0 (1,764)	6.0 (105)	16.7 (295)	40.1 (708)	21.4 (377)	6.9 (122)	0.6 (10)	0.2 (3)	7.1 (126)	0.5 (8)	0.6 (10)
性別											
男性	829	7.2	18.8	41.4	20.0	5.7	0.5	0.2	5.4	0.2	0.5
女性	935	4.8	14.9	39.0	22.6	8.0	0.6	0.1	8.7	0.6	0.6
性別×年齢別											
男性:20歳代	89	18.0	28.1	33.7	9.0	2.2	-	1.1	6.7	1.1	-
男性:30歳代	148	9.5	27.0	35.8	14.9	4.7	0.7	0.7	6.8	-	-
男性:40歳代	143	10.5	21.7	46.2	14.7	4.9	-	-	1.4	-	0.7
男性:50歳代	113	7.1	19.5	36.3	23.9	5.3	-	-	6.2	0.9	0.9
男性:60歳代	216	2.8	11.1	48.6	22.7	7.9	0.5	-	6.5	-	-
男性:70歳以上	120	0.8	11.7	40.0	32.5	6.7	1.7	-	5.0	-	1.7
女性:20歳代	93	18.3	19.4	28.0	11.8	9.7	1.1	-	10.8	1.1	-
女性:30歳代	133	4.5	18.0	46.6	18.0	3.0	-	-	8.3	0.8	0.8
女性:40歳代	174	8.6	18.4	43.7	14.9	4.6	1.1	-	7.5	0.6	0.6
女性:50歳代	177	1.1	16.4	41.2	22.6	11.3	0.6	0.6	5.6	-	0.6
女性:60歳代	223	1.3	11.2	35.9	30.5	8.5	0.4	-	10.8	0.4	0.9
女性:70歳以上	135	1.5	8.1	35.6	31.1	11.1	0.7	-	9.6	1.5	0.7
職業別											
農林漁業	45	6.7	6.7	44.4	22.2	13.3	-	-	4.4	-	2.2
自営業	184	4.9	15.8	34.8	24.5	9.8	2.2	-	7.6	0.5	-
給与所得者(常勤)	657	8.5	22.2	40.8	15.7	6.2	0.2	0.5	5.5	0.2	0.3
パート・アルバイト (学生は除く)	260	3.5	13.8	41.9	21.2	7.3	0.4	-	9.6	1.2	1.2
学生	25	24.0	28.0	24.0	8.0	4.0	-	-	12.0	-	-
家事に専念	214	3.3	13.1	37.9	32.7	3.7	1.4	-	7.0	0.9	-
無職	335	3.6	11.3	43.6	24.2	7.2	-	-	8.7	0.3	1.2
その他	30	10.0	13.3	33.3	30.0	3.3	3.3	-	6.7	-	-
無回答	14	-	28.6	28.6	14.3	28.6	-	-	-	-	-

4-2 高齢期の就労

(1) 60 歳以降の働き方

7 割以上の方が 60 歳以降も働きたいと思っている。働き方では「1 週間のうち 3 日程度働きたい」が 38.3% で最も高い。

問 20 あなたは、60 歳以降にどのような働き方（収入を伴う）をしたいと思いますか。（あてはまる番号に 1 つだけ○印）



◆属性別特徴

【性別】男性は「フルタイムで毎日働きたい」が 22.0% で女性より 14.9 ポイント高く、女性は「働くつもりがない」が 15.4% で男性より 6 ポイント高い。

【年齢別】55～64 歳では「フルタイムで毎日働きたい」、65 歳以上では「働くつもりはない」がそれぞれ 2 割を超えて他の年代より高い。20～24 歳は「わからない」が他の年齢層より高いが、「働くつもりはない」も比較的高い。

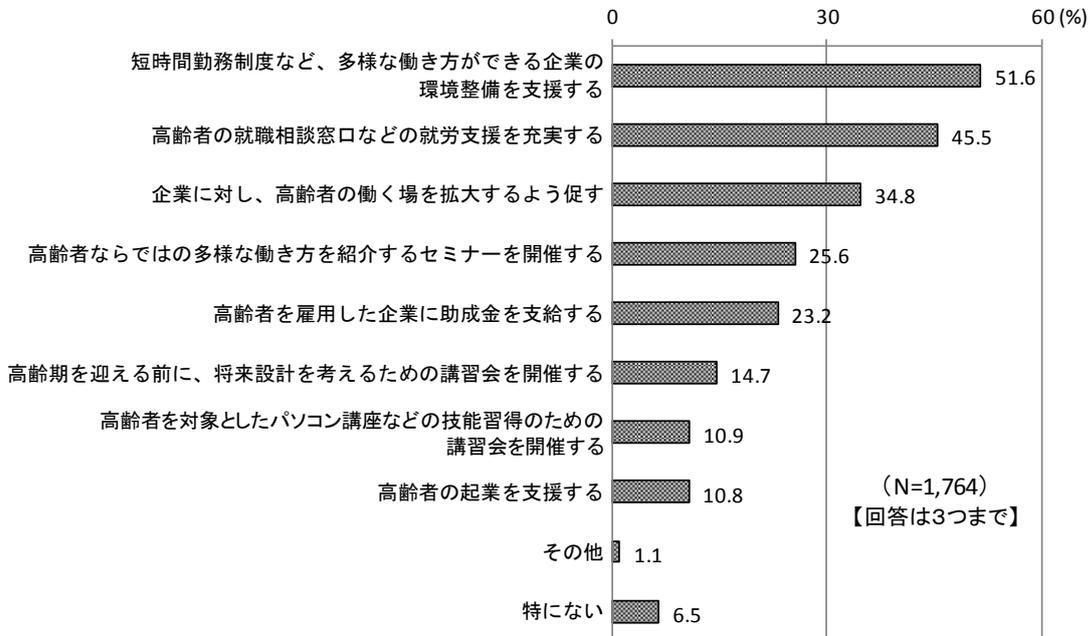
【職業別】農林漁業で「短時間でほぼ毎日働きたい」が 33.3% で最も高い。給与所得者（常勤）は「フルタイムで働きたい」が 23.4% で他の職業より高い。

	標本数(票)	60歳以降の働き方 (%)						『働きたい』
		毎日働きたい	フルタイムで働きたい	短時間働きたい	1週間働きたい	働くつもりはない	わからない	
全体 (カッコ内は標本数)	100.0 (1,764)	14.1 (248)	19.7 (348)	38.3 (675)	12.6 (222)	14.1 (248)	1.3 (23)	72.1 (1,271)
性別								
男性	829	22.0	19.7	34.7	9.4	13.3	1.0	76.4
女性	935	7.1	19.8	41.4	15.4	14.8	1.6	68.3
年齢別								
20歳代	182	7.1	18.1	40.1	13.7	20.3	0.5	65.3
30歳代	281	10.7	23.1	41.3	5.3	18.9	0.7	75.1
40歳代	317	17.7	25.9	37.2	5.0	13.2	0.9	80.8
50歳代	290	20.0	21.4	34.5	11.4	11.7	1.0	75.9
60歳代	439	18.0	16.6	39.9	14.4	10.3	0.9	74.5
70歳以上	255	4.7	12.9	36.5	27.5	14.5	3.9	54.1
年齢別								
20～24歳	90	6.7	11.1	36.7	16.7	28.9	-	54.5
25～29歳	92	7.6	25.0	43.5	10.9	12.0	1.1	76.1
30～34歳	143	8.4	28.7	37.1	7.7	16.8	1.4	74.2
35～39歳	138	13.0	17.4	45.7	2.9	21.0	-	76.1
40～44歳	175	18.3	27.4	34.9	5.1	13.7	0.6	80.6
45～49歳	142	16.9	23.9	40.1	4.9	12.7	1.4	80.9
50～54歳	148	18.9	21.6	36.5	12.2	10.1	0.7	77.0
55～59歳	142	21.1	21.1	32.4	10.6	13.4	1.4	74.6
60～64歳	219	24.7	17.8	42.0	7.3	7.3	0.9	84.5
65～69歳	220	11.4	15.5	37.7	21.4	13.2	0.9	64.6
70～74歳	150	6.7	14.7	38.0	25.3	12.7	2.7	59.4
75歳以上	105	1.9	10.5	34.3	30.5	17.1	5.7	46.7
職業別								
農林漁業	45	15.6	33.3	28.9	11.1	8.9	2.2	77.8
自営業	184	18.5	26.1	33.7	8.2	12.0	1.6	78.3
給与所得者(常勤)	657	23.4	22.5	35.2	6.5	11.7	0.6	81.1
パート・アルバイト (学生は除く)	260	10.4	30.0	47.7	6.2	3.8	1.9	88.1
学生	25	4.0	20.0	48.0	12.0	16.0	-	72.0
家事に専念	214	1.9	8.4	39.7	26.2	23.8	-	50.0
無職	335	4.8	8.1	37.3	24.5	22.4	3.0	50.2
その他	30	10.0	26.7	53.3	-	10.0	-	90.0
無回答	14	14.3	7.1	50.0	14.3	14.3	-	71.4

(2) 高齢者の就労支援

「多様な働き方ができる企業の環境整備支援」が 51.6%で 1 位。

問 21 あなたは、高齢者の就労を推進するために、特に重要な取り組みは何だと思えますか。次の中から3つまで（2つ以内でも構いません）選び、番号に○印をつけてください。



◆属性別特徴

【性別】男性は「高齢者の起業支援」「高齢者を雇用した企業への助成」が女性より特に高く、女性は「多様な働き方ができる企業の環境整備支援」が男性より特に高い。

【年齢別】20歳代では「多様な働き方を紹介するセミナー」「将来設計を考えるための講習会」、40～59歳では「就職相談窓口など就労支援を充実」、45～54歳では「企業に対し、高齢者の働く場を拡大するよう促す」が他の年齢層より高い。

【職業別】農林漁業と自営業では「就職相談窓口など就労支援を充実」、他の職業では「多様な働き方ができる企業の環境整備支援」が最も高い。パート・アルバイトでは「就職相談窓口など就労支援を充実」、学生では「多様な働き方を紹介するセミナー」が他の職業より高い。

【60歳以降の働き方別】フルタイムで毎日働きたいでは「企業に対し、高齢者の働く場を拡大するよう促す」「高齢者を雇用した企業への助成」、短時間に毎日働きたいと1週間のうち3日程度働きたいでは「多様な働き方ができる企業の環境整備支援」がそれぞれ他の希望する働き方より高い。

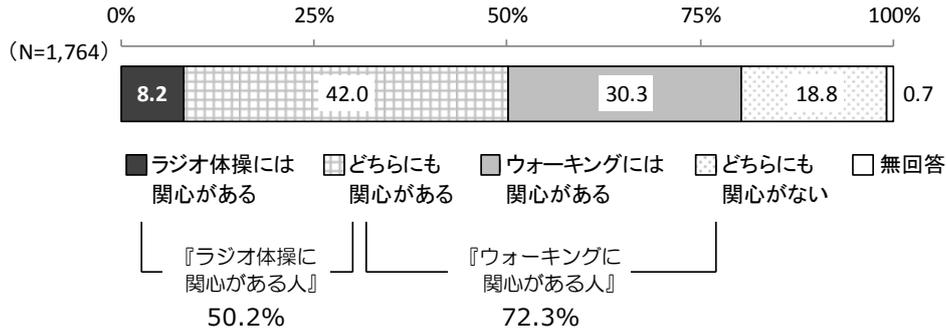
	標本数(票)	高齢者の就労を推進するための取り組み (%)													
		の高就労者の支援を充実する	高齢者の紹介する	高齢者の講座を開催する	高齢者の起業を支援する	設計を考えるための講習会	高齢者を迎える前に、将来	企業を拡大するよう促す	企業に対し、高齢者の働く	環境整備を支援する	短時間勤務制度など、多様な働き方ができる企業の環境	成金を支給する	高齢者を雇用した企業に助	その他	特にな
全体 (カッコ内は標本数)	100.0 (1,764)	45.5 (802)	25.6 (452)	10.9 (192)	10.8 (191)	14.7 (260)	34.8 (614)	51.6 (910)	23.2 (409)	1.1 (20)	6.5 (115)	2.3 (40)			
性別															
男性	829	43.5	26.8	11.0	13.5	16.6	35.1	46.7	28.5	1.3	6.0	2.1			
女性	935	47.2	24.6	10.8	8.4	13.0	34.5	55.9	18.5	1.0	7.0	2.5			
年齢別															
20~24歳	90	31.1	33.3	13.3	12.2	22.2	27.8	46.7	16.7	1.1	11.1	-			
25~29歳	92	42.4	29.3	20.7	4.3	26.1	20.7	50.0	25.0	1.1	7.6	4.3			
30~34歳	143	47.6	20.3	5.6	9.1	15.4	38.5	63.6	24.5	2.8	4.2	0.7			
35~39歳	138	41.3	27.5	11.6	11.6	16.7	33.3	58.0	26.1	1.4	2.9	-			
40~44歳	175	53.1	24.0	12.0	12.6	14.3	37.7	53.1	23.4	1.1	3.4	1.7			
45~49歳	142	56.3	22.5	11.3	9.9	13.4	43.7	59.2	30.3	1.4	3.5	2.1			
50~54歳	148	50.0	18.9	11.5	10.8	15.5	48.0	60.8	28.4	0.7	0.7	-			
55~59歳	142	50.7	28.9	6.3	12.0	12.7	40.8	52.8	19.0	1.4	2.1	2.8			
60~64歳	219	48.4	25.6	14.2	15.1	11.9	38.4	51.6	22.8	0.5	3.7	1.4			
65~69歳	220	43.2	24.5	9.5	8.6	11.4	29.1	46.8	19.5	0.9	11.4	3.6			
70~74歳	150	37.3	31.3	10.7	10.7	10.0	27.3	38.0	22.0	0.7	15.3	4.0			
75歳以上	105	32.4	26.7	5.7	9.5	19.0	21.9	34.3	20.0	1.0	16.2	7.6			
職業別															
農林漁業	45	48.9	24.4	11.1	11.1	8.9	24.4	37.8	20.0	-	4.4	8.9			
自営業	184	42.9	26.1	10.9	14.1	15.2	31.0	41.3	26.1	1.6	7.1	1.6			
給与所得者(常勤)	657	46.9	26.5	9.3	11.1	17.0	38.7	56.3	26.6	1.8	3.5	1.1			
パート・アルバイト (学生は除く)	260	54.6	22.3	14.2	10.0	11.5	42.3	59.2	28.1	0.4	3.5	1.2			
学生	25	28.0	40.0	20.0	4.0	36.0	36.0	56.0	12.0	-	4.0	-			
家事に専念	214	48.1	24.3	9.8	8.4	12.6	28.5	58.4	16.4	0.5	9.3	1.9			
無職	335	37.9	25.7	9.9	10.1	13.4	28.7	40.3	17.3	0.9	13.1	4.8			
その他	30	33.3	16.7	30.0	26.7	3.3	33.3	43.3	23.3	-	3.3	10.0			
無回答	14	28.6	57.1	7.1	-	28.6	42.9	42.9	7.1	-	14.3	-			
の60歳以降															
フルタイムでほぼ毎日働きたい	248	52.4	27.8	10.5	13.3	13.3	50.8	41.1	30.6	1.2	2.8	1.6			
短時間でほぼ毎日働きたい	348	51.1	26.7	10.6	10.6	18.1	35.3	60.1	27.9	0.9	2.6	2.6			
1週間のうち3日程度働きたい	675	47.7	27.4	12.1	11.9	13.9	36.1	59.1	23.1	1.2	1.9	0.9			
働くつもりはない	222	32.9	23.4	10.4	6.3	16.2	20.7	41.9	14.4	0.9	20.7	3.2			
わからない	248	36.3	21.0	9.3	9.7	12.9	27.8	41.1	16.9	1.2	16.1	2.8			
無回答	23	39.1	4.3	4.3	13.0	8.7	26.1	21.7	26.1	4.3	-	30.4			

4-3 健康づくり

(1) ラジオ体操、ウォーキングへの関心度

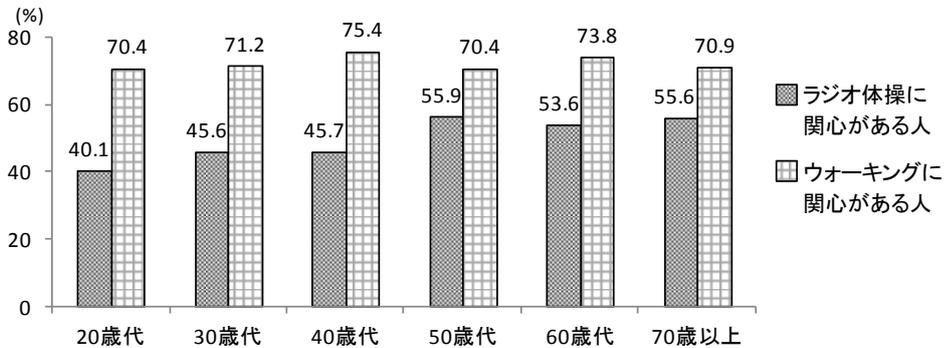
ラジオ体操に関心がある人は 50.2%、ウォーキングに関心がある人は 72.3%。

問 22 あなたは、高齢期になっても気軽に続けられる健康づくりの方法として、ラジオ体操（テレビ体操を含む）やウォーキング（軽度の散歩を含む）への取り組みに関心がありますか。
（あてはまる番号に1つだけ○印）



■ 図4-2 年齢別にみた『ラジオ体操に関心がある人』、『ウォーキングに関心がある人』

◇ウォーキングはすべての年齢層で『関心がある』が7割を超えているが、ラジオ体操は年齢が上がるほど『関心がある』が高くなる傾向にある。



◆属性別特徴

【性別】女性はラジオ体操、ウォーキングのいずれでも『関心がある』が男性より高い。

【性別・年齢別】ラジオ体操では、男性は年齢が上がるほど『関心がある』が高くなっている。ウォーキングでは、20歳代女性で『関心がある』が79.6%で最も高い。

【ブロック別】ラジオ体操では北部B、西部Aで『関心がある』が5割半ばで他の地域より高く、ウォーキングでは中央部、西部Bで『関心がある』が7割半ばで他の地域より高い。

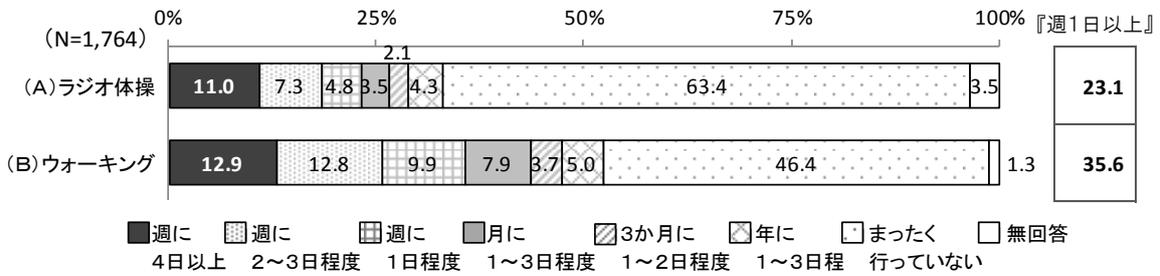
【職業別】家事に専念はラジオ体操への関心が、学生と家事に専念はウォーキングへの関心が他の職業より高い。

		標本数 (票)	ラジオ体操やウォーキングへの関心 (%)						
			がど あち らに も 関 心	関 心 が あ る に は	は ウ オ ー キ ン グ に	がど な い ら に も 関 心	無 回 答	『 ラ ジ オ が 体 操 に 』	『 ウ オ ー キ ン グ に 』
全体 (カッコ内は標本数)		100.0 (1,764)	42.0 (741)	8.2 (144)	30.3 (535)	18.8 (332)	0.7 (12)	50.2 (885)	72.3 (1,276)
性別	男性	829	35.3	6.6	35.0	22.6	0.5	41.9	70.3
	女性	935	47.9	9.5	26.2	15.5	0.9	57.4	74.1
性別× 年齢別	男性:20歳代	89	21.3	5.6	39.3	33.7	-	26.9	60.6
	男性:30歳代	148	25.0	5.4	40.5	29.1	-	30.4	65.5
	男性:40歳代	143	35.7	2.1	39.2	22.4	0.7	37.8	74.9
	男性:50歳代	113	37.2	8.0	29.2	25.7	-	45.2	66.4
	男性:60歳代	216	42.1	8.3	31.9	17.6	-	50.4	74.0
	男性:70歳以上	120	44.2	10.0	30.8	12.5	2.5	54.2	75.0
	女性:20歳代	93	44.1	8.6	35.5	10.8	1.1	52.7	79.6
	女性:30歳代	133	56.4	6.0	21.1	16.5	-	62.4	77.5
	女性:40歳代	174	46.6	5.7	29.3	17.8	0.6	52.3	75.9
	女性:50歳代	177	50.3	12.4	22.6	13.6	1.1	62.7	72.9
女性:60歳代	223	47.5	9.0	26.0	17.0	0.4	56.5	73.5	
女性:70歳以上	135	41.5	15.6	25.9	14.8	2.2	57.1	67.4	
ブ ロ ッ ク 別	東部A	128	35.2	10.9	33.6	20.3	-	46.1	68.8
	東部B(田主丸)	109	44.0	5.5	22.0	26.6	1.8	49.5	66.0
	北部A	161	42.2	8.1	31.7	17.4	0.6	50.3	73.9
	北部B(北野)	118	49.2	7.6	24.6	17.8	0.8	56.8	73.8
	中央東部	223	42.6	6.7	30.9	19.3	0.4	49.3	73.5
	南東部	176	38.1	9.7	29.5	22.2	0.6	47.8	67.6
	中央部	236	42.8	8.1	33.5	15.3	0.4	50.9	76.3
	中央南部	298	43.3	6.7	30.2	18.8	1.0	50.0	73.5
	南西部	147	38.8	8.8	33.3	19.0	-	47.6	72.1
職 業 別	西部A(城島)	70	41.4	15.7	27.1	15.7	-	57.1	68.5
	西部B(三瀧)	98	44.9	7.1	30.6	15.3	2.0	52.0	75.5
	農林漁業	45	37.8	4.4	26.7	31.1	-	42.2	64.5
	自営業	184	42.4	7.6	27.2	22.3	0.5	50.0	69.6
	給与所得者(常勤)	657	42.6	7.0	31.2	19.0	0.2	49.6	73.8
	パート・アルバイト (学生は除く)	260	39.6	8.1	30.0	21.2	1.2	47.7	69.6
	学生	25	32.0	12.0	48.0	8.0	-	44.0	80.0
	家事に専念	214	50.0	12.1	27.1	10.3	0.5	62.1	77.1
	無職	335	38.8	8.7	31.6	19.4	1.5	47.5	70.4
その他	30	40.0	6.7	26.7	23.3	3.3	46.7	66.7	
無回答	14	42.9	7.1	42.9	7.1	-	50.0	85.8	

(2) ラジオ体操、ウォーキングの頻度

ラジオ体操を週に1日以上行っている人は23.1%。ウォーキングを週に1日以上行っている人は35.6%。

問 23 あなたは、普段の生活の中で、健康づくりのためにラジオ体操やウォーキングをどの程度行っていますか。(あてはまる番号にそれぞれ1つずつ○印)



◆属性別特徴

【性別】男性はラジオ体操、ウォーキングのいずれでも『週に1日以上』が女性より高い。

【性別・年齢別】男女とも年齢が上がるほどラジオ体操、ウォーキングのいずれも『週に1日以上』が高くなる傾向にある。特に、70歳以上男性でウォーキングを『週に1日以上』が63.3%と高い。

【ブロック別】ラジオ体操では東部B、ウォーキングでは中央部で『週に1日以上』が他の地域より高い。

【家族構成別】ラジオ体操もウォーキングも単身と夫婦のみで『週に1日以上』が他の家族構成より高い。

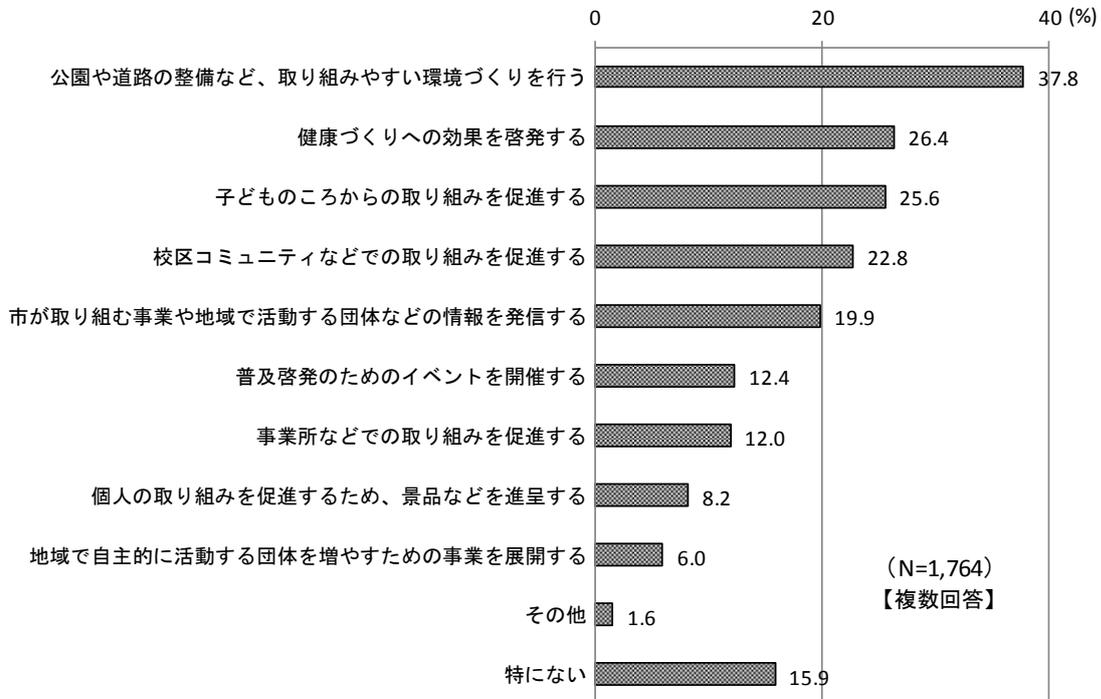
【ラジオ体操やウォーキングへの関心度別】どちらにも関心がない人は、ラジオ体操もウォーキングのいずれも『週に1日以上』が1割に満たない。

	標本数 (票)	(A)ラジオ体操 (%)										(B)ウォーキング (%)									
		週に 4日 以上	程 度 に 2 日 以上	週 に 1 日 程 度	程 度 に 1 日 程 度	2 日 程 度	3 日 程 度	年 に 1 回 程 度													
全体 (カッコ内は標本数)	100.0 (1,764)	11.0 (194)	7.3 (129)	4.8 (85)	3.5 (62)	2.1 (37)	4.3 (76)	63.4 (1,119)	3.5 (62)	23.1 (408)	12.9 (228)	12.8 (225)	9.9 (175)	7.9 (140)	3.7 (65)	5.0 (89)	46.4 (819)	1.3 (23)	35.6 (628)		
性別																					
男性	829	13.5	6.2	5.5	2.4	1.7	3.3	63.7	3.7	25.2	14.7	12.9	9.8	8.3	3.4	4.7	45.1	1.1	37.4		
女性	935	8.8	8.3	4.2	4.5	2.5	5.2	63.2	3.3	21.3	11.3	12.6	10.1	7.6	4.0	5.3	47.6	1.5	34.0		
性別×年齢別																					
男性:20歳代	89	13.5	-	1.1	3.4	-	3.4	78.7	-	14.6	11.2	4.5	7.9	9.0	4.5	3.4	59.6	-	23.6		
男性:30歳代	148	12.2	0.7	0.7	0.7	2.7	2.0	81.1	-	13.6	3.4	6.8	8.8	7.4	2.7	6.1	64.9	-	19.0		
男性:40歳代	143	20.3	5.6	3.5	2.1	-	4.9	61.5	2.1	29.4	10.5	11.9	12.6	5.6	2.8	6.3	48.3	2.1	35.0		
男性:50歳代	113	11.5	6.2	8.0	2.7	1.8	0.9	68.1	0.9	25.7	9.7	13.3	8.0	11.5	3.5	4.4	48.7	0.9	31.0		
男性:60歳代	216	8.8	10.6	9.7	3.2	2.3	3.2	56.5	5.6	29.1	19.0	17.6	9.7	8.3	4.2	5.1	34.7	1.4	46.3		
男性:70歳以上	120	17.5	10.0	7.5	2.5	2.5	5.0	42.5	12.5	35.0	33.3	19.2	10.8	9.2	2.5	1.7	21.7	1.7	63.3		
女性:20歳代	93	8.6	3.2	1.1	3.2	1.1	4.3	77.4	1.1	12.9	4.3	6.5	7.5	14.0	4.3	6.5	55.9	1.1	18.3		
女性:30歳代	133	6.0	2.3	0.8	1.5	3.0	6.0	78.2	2.3	9.1	3.0	9.8	12.0	6.8	7.5	7.5	53.4	-	24.8		
女性:40歳代	174	6.3	2.9	3.4	2.9	2.9	6.9	74.1	0.6	12.6	6.3	9.8	9.8	10.3	3.4	4.6	54.0	1.7	25.9		
女性:50歳代	177	5.1	9.6	2.8	4.5	3.4	5.1	67.2	2.3	17.5	9.0	11.3	10.2	6.8	4.0	6.2	50.8	1.7	30.5		
女性:60歳代	223	13.0	9.4	4.9	5.8	2.7	4.5	54.3	5.4	27.3	17.5	14.8	12.1	4.9	4.0	5.4	39.5	1.8	44.4		
女性:70歳以上	135	12.6	21.5	11.1	8.1	0.7	4.4	34.1	7.4	45.2	23.7	21.5	6.7	5.9	0.7	2.2	37.0	2.2	51.9		
ブロック別																					
東部A	128	10.2	3.9	5.5	0.8	2.3	3.9	71.1	2.3	19.6	8.6	7.0	13.3	7.8	4.7	4.7	53.1	0.8	28.9		
東部B(田主丸)	109	14.7	11.0	8.3	1.8	1.8	2.8	55.0	4.6	34.0	11.9	9.2	3.7	10.1	2.8	3.7	57.8	0.9	24.8		
北部A	161	12.4	8.1	3.1	3.7	0.6	6.2	62.7	3.1	23.6	9.3	11.8	14.3	9.3	2.5	5.6	44.7	2.5	35.4		
北部B(北野)	118	16.9	5.9	5.1	4.2	0.8	4.2	57.6	5.1	27.9	15.3	13.6	7.6	11.9	2.5	1.7	47.5	-	36.5		
中央東部	223	12.1	9.9	3.1	2.2	1.3	5.8	60.5	4.9	25.1	14.8	17.5	6.3	7.2	3.1	4.9	44.4	1.8	38.6		
南東部	176	9.7	2.8	5.7	5.1	2.3	2.8	67.0	4.5	18.2	13.6	14.8	11.4	6.3	4.0	6.3	42.6	1.1	39.8		
中央部	236	9.7	9.7	4.7	1.3	1.7	3.0	66.9	3.0	24.1	16.5	15.7	8.9	6.4	3.8	4.2	43.6	0.8	41.1		
中央南部	298	8.7	5.7	5.0	5.7	3.0	3.0	65.8	3.0	19.4	10.7	13.4	10.7	8.7	4.0	5.0	46.6	0.7	34.8		
南西部	147	9.5	7.5	4.8	4.1	1.4	6.1	63.3	3.4	21.8	14.3	7.5	10.2	8.8	2.0	7.5	47.6	2.0	32.0		
西部A(城島)	70	10.0	11.4	2.9	8.6	2.9	2.9	58.6	2.9	24.3	12.9	8.6	12.9	8.6	1.4	7.1	44.3	4.3	34.4		
西部B(三瀧)	98	11.2	6.1	6.1	2.0	6.1	8.2	59.2	1.0	23.4	13.3	12.2	11.2	3.1	10.2	5.1	43.9	1.0	36.7		
家族構成別																					
単身	181	11.6	10.5	4.4	2.2	1.1	2.2	63.5	4.4	26.5	18.8	18.8	8.3	5.0	3.3	2.8	41.4	1.7	45.9		
夫婦のみ	356	10.1	11.2	7.3	4.5	2.8	3.7	55.1	5.3	28.6	19.9	18.5	10.1	7.0	2.8	4.5	35.4	1.7	48.5		
親・子(2世代)	925	11.1	5.4	3.6	3.0	2.3	5.3	66.8	2.5	20.1	9.0	10.3	10.3	9.2	3.9	5.9	50.5	1.0	29.6		
親・子・孫(3世代)	257	11.3	5.1	5.4	4.3	1.6	3.9	65.4	3.1	21.8	12.1	10.9	9.3	7.0	3.9	3.5	52.1	1.2	32.3		
その他	40	12.5	15.0	7.5	7.5	-	-	50.0	7.5	35.0	22.5	5.0	10.0	7.5	7.5	2.5	42.5	2.5	37.5		
無回答	5	-	20.0	20.0	-	-	-	40.0	20.0	40.0	-	-	20.0	-	-	60.0	-	20.0			
への関心度別																					
ラジオ体操やウォーキングには関心がある	741	16.6	9.7	6.7	5.1	3.0	5.1	52.0	1.8	33.0	16.6	14.7	12.1	9.0	3.5	5.4	37.9	0.7	43.4		
ラジオ体操やウォーキングには関心がある	144	13.9	14.6	6.9	7.6	6.3	6.3	42.4	2.1	35.4	5.6	10.4	8.3	9.0	4.2	4.9	55.6	2.1	24.3		
ラジオ体操やウォーキングには関心がある	535	5.8	5.6	4.1	2.1	1.1	4.5	69.3	7.5	15.5	15.5	16.3	12.3	10.3	5.6	6.0	33.3	0.7	44.1		
ラジオ体操やウォーキングには関心がない	332	5.7	1.8	0.3	0.6	-	1.5	89.8	0.3	7.8	3.6	3.9	2.1	1.5	0.9	3.0	83.1	1.8	9.6		
ラジオ体操やウォーキングには関心がない	12	8.3	-	16.7	-	-	-	33.3	41.7	25.0	16.7	8.3	-	-	-	-	33.3	41.7	25.0		

(3) ラジオ体操、ウォーキングを普及させるための取り組み

「公園や道路の整備など、取り組みやすい環境づくりを行う」が 37.8%で 1 位。

問 24 あなたは、ラジオ体操やウォーキングを市民にもっと普及させていくために、どのような取り組みを進めることが重要だと思いますか。(あてはまる番号にいくつでも○印)



◆属性別特徴

【性別】女性は「子どもからの取り組みを促進」が男性より 4.9 ポイント高い。

【性別・年齢別】20 歳代女性で「子どもからの取り組みを促進」、70 歳以上男性で「健康づくりへの効果を啓発」、70 歳以上女性で「校区コミュニティなどでの取り組みを促進」、それ以外では「公園や道路整備など、取り組みやすい環境づくり」が最も高い。

【ブロック別】東部 B、西部 A では「健康づくりへの効果を啓発」が 3 割を超えて最も高い。

【ラジオ体操やウォーキングへの関心度別】ウォーキングに関心がある人は「公園や道路整備など、取り組みやすい環境づくり」が 4 割を超えて高い。

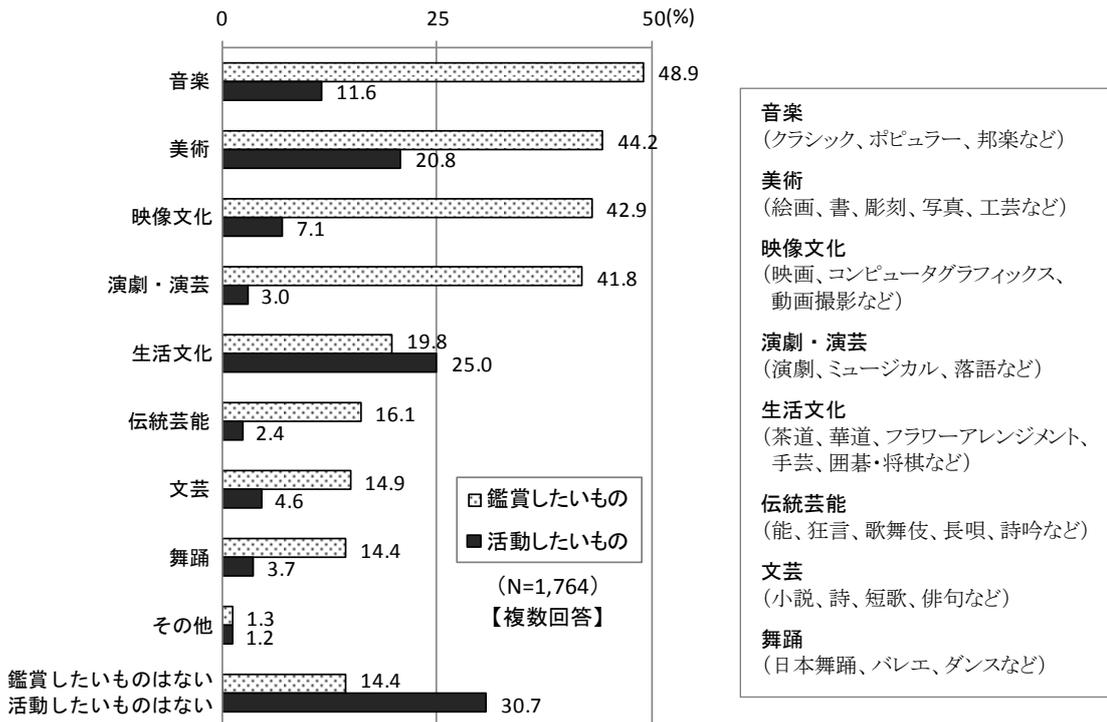
		標本数(票)	ラジオ体操やウォーキングを普及させるための取り組み (%)											無回答	
			の域情でが活報を信する	啓発する	健康づくりへの効果を	子どもを促すから取	事業所などでの取組	で区の取組を促進す	校団体を展覧するた	事団を自主的に活動す	地域で開発のためイ	ン普及を啓発のためイ	境づくりに取り組むや		公園や道路の整備な
全体 (カッコ内は標本数)		100.0 (1,764)	19.9 (351)	26.4 (466)	25.6 (452)	12.0 (211)	22.8 (402)	6.0 (105)	12.4 (219)	37.8 (666)	8.2 (144)	1.6 (29)	15.9 (281)	3.3 (59)	
性別	男性	829	19.1	27.9	23.0	11.7	23.0	7.0	13.8	39.0	9.8	1.7	17.0	3.4	
	女性	935	20.6	25.1	27.9	12.2	22.6	5.0	11.2	36.7	6.7	1.6	15.0	3.3	
性別×年齢別	男性:20歳代	89	9.0	28.1	30.3	11.2	18.0	2.2	14.6	32.6	9.0	1.1	21.3	1.1	
	男性:30歳代	148	21.6	18.9	23.6	10.1	22.3	4.7	16.2	45.9	15.5	-	19.6	1.4	
	男性:40歳代	143	13.3	22.4	32.9	14.0	17.5	4.9	14.0	46.2	13.3	1.4	15.4	2.1	
	男性:50歳代	113	22.1	29.2	20.4	11.5	17.7	10.6	16.8	35.4	10.6	2.7	15.0	3.5	
	男性:60歳代	216	20.4	33.3	17.1	13.0	26.4	6.0	13.0	38.4	5.6	1.4	15.7	4.2	
	男性:70歳以上	120	25.0	34.2	18.3	9.2	33.3	14.2	8.3	30.8	5.8	4.2	16.7	7.5	
	女性:20歳代	93	20.4	21.5	46.2	8.6	12.9	1.1	10.8	33.3	16.1	-	10.8	4.3	
	女性:30歳代	133	15.8	20.3	39.1	17.3	22.6	4.5	20.3	48.9	12.0	3.8	9.8	2.3	
	女性:40歳代	174	17.8	21.3	32.2	12.1	17.2	2.9	16.7	42.0	9.8	2.9	11.5	3.4	
	女性:50歳代	177	26.0	22.0	22.0	13.0	24.3	5.6	10.2	33.9	4.0	1.1	15.3	2.8	
女性:60歳代	223	21.1	32.7	18.4	10.3	24.7	7.2	5.8	36.3	2.2	0.4	21.1	2.7		
女性:70歳以上	135	21.5	28.9	22.2	11.9	30.4	6.7	5.9	24.4	2.2	1.5	17.0	5.2		
ブロック別	東部A	128	14.1	25.8	20.3	12.5	22.7	7.8	9.4	44.5	10.2	1.6	18.8	3.1	
	東部B(田主丸)	109	21.1	30.3	24.8	15.6	24.8	6.4	11.0	28.4	9.2	2.8	19.3	-	
	北部A	161	21.7	24.8	23.6	17.4	24.8	7.5	16.1	35.4	6.2	1.2	13.7	3.1	
	北部B(北野)	118	19.5	27.1	25.4	13.6	23.7	11.0	11.9	35.6	6.8	1.7	14.4	1.7	
	中央東部	223	22.4	27.4	22.9	13.5	18.8	4.0	9.0	43.0	4.5	1.8	17.5	4.9	
	南東部	176	17.0	26.7	25.0	6.8	17.6	2.3	13.6	37.5	7.4	2.3	14.8	5.1	
	中央部	236	20.8	25.8	23.3	9.7	24.6	5.9	12.7	36.0	7.2	2.1	15.7	3.8	
	中央南部	298	19.1	26.2	29.2	9.7	22.8	6.0	15.1	41.6	10.1	1.0	16.4	3.7	
	南西部	147	20.4	23.8	37.4	14.3	27.9	4.1	14.3	40.8	9.5	2.0	12.2	0.7	
	西部A(城島)	70	18.6	35.7	21.4	14.3	25.7	4.3	4.3	20.0	11.4	-	21.4	4.3	
西部B(三瀬)	98	23.5	21.4	24.5	9.2	20.4	9.2	12.2	34.7	11.2	1.0	13.3	4.1		
同居家族別	世帯の中に就学前の子どもがいる	251	20.3	21.5	34.7	10.8	23.9	4.0	19.1	43.8	9.2	1.2	17.5	2.0	
	世帯の中に小学生がいる	240	16.3	23.3	40.0	11.3	26.3	5.4	12.9	40.4	15.4	0.8	14.2	2.9	
	世帯の中に中学生がいる	136	13.2	21.3	38.2	12.5	25.0	2.2	17.6	35.3	13.2	2.2	9.6	3.7	
	世帯の中に上記以外の18歳未満の子どもがいる	168	20.8	20.8	35.7	11.9	22.0	5.4	14.9	38.7	13.7	1.2	10.7	4.2	
	世帯の中に65~74歳の方がいる	601	21.0	28.8	23.1	11.0	27.0	7.5	9.8	36.3	6.2	1.7	17.3	3.7	
	世帯の中に75歳以上の方がいる	382	18.3	28.5	25.1	14.1	27.2	9.9	11.0	33.0	9.7	2.6	13.4	4.5	
	以上にあてはまる人はいない	500	20.4	27.4	21.0	13.4	17.6	5.4	12.4	38.6	6.8	1.2	18.2	2.2	
無回答	10	30.0	20.0	-	10.0	10.0	10.0	20.0	30.0	30.0	-	-	-		
ンヤラ心グウジ度へオオ別の1体関キ操	どちらにも関心がある	741	26.3	34.3	30.2	15.4	29.6	6.9	15.7	41.3	8.0	1.3	5.9	3.2	
	ラジオ体操には関心がある	144	18.8	26.4	28.5	11.1	26.4	8.3	5.6	29.9	4.2	0.7	15.3	4.2	
	ウォーキングには関心がある	535	17.6	25.4	23.2	10.8	21.1	6.4	13.8	45.0	10.1	1.7	11.2	2.8	
	どちらにも関心がない	332	9.9	11.1	18.1	6.9	8.4	2.4	6.0	21.7	7.2	2.4	45.8	3.9	
無回答	12	16.7	8.3	25.0	-	33.3	-	8.3	33.3	8.3	8.3	25.0	8.3		

4-4 文化芸術、生涯学習

(1) 鑑賞したい、活動したい文化芸術

高齢になっても鑑賞したい文化芸術の分野は「音楽」が48.9%で1位。活動したい文化芸術の分野は「生活文化」が25.0%で1位。

問 25 あなたが、文化芸術の分野で高齢になっても取り組みたいものは何ですか。(A) 鑑賞したいもの、(B) 活動したいもの、それぞれについて次の中からあてはまるものをいくつでも選び、番号に○印をつけてください。



◆属性別特徴

鑑賞したい文化芸術

【性別】男性は「映像文化」「その他」が女性より高いが、それ以外はすべての項目で女性の方が男性より高い。

【性別・年齢別】20～40歳代男性で「映像文化」、50歳代男性と20～50歳代女性で「音楽」、60歳代以上男女で「美術」が最も高い。

活動したい文化芸術

【性別】男性は「音楽」「映像文化」「その他」が女性より高いが、それ以外はすべての項目で女性の方が男性より高い。女性は「生活文化」が35.1%で最も高く、男性は「活動したいものはない」が36.8%で最も高い。

【性別・年齢別】20～50歳代女性で「生活文化」が最も高い。「生活文化」は、男性では30歳代で25.7%と他の年齢層より高い。男女とも年齢が低いほど「音楽」が高い傾向になっている。

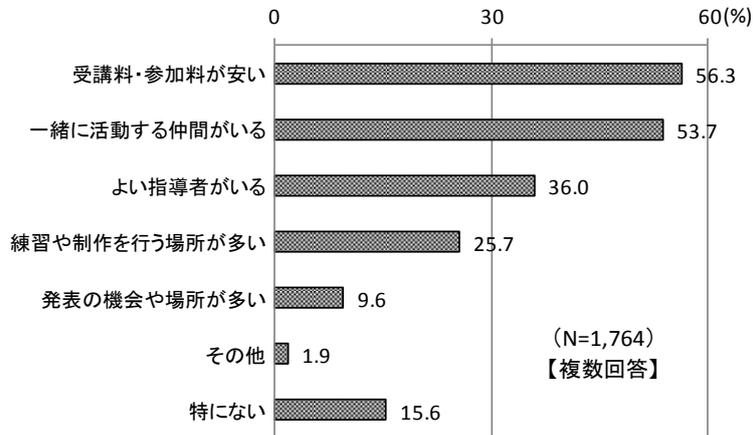
	標本数 (票)	(A)鑑賞したいもの (%)										
		美術	音楽	演劇・演芸	舞踊	伝統芸能	生活文化	映像文化	文芸	その他	の鑑賞 はない たいも	無回答
全体 (カッコ内は標本数)	100.0 (1,764)	44.2 (780)	48.9 (863)	41.8 (737)	14.4 (254)	16.1 (284)	19.8 (349)	42.9 (756)	14.9 (263)	1.3 (23)	14.4 (254)	5.8 (102)
性別												
男性	829	39.2	43.4	32.7	7.4	11.2	10.1	43.9	12.4	1.8	20.1	5.3
女性	935	48.7	53.8	49.8	20.6	20.4	28.3	41.9	17.1	0.9	9.3	6.2
性別×年齢												
男性:20歳代	89	28.1	50.6	24.7	9.0	10.1	13.5	61.8	18.0	2.2	22.5	4.5
男性:30歳代	148	41.9	42.6	35.8	9.5	12.8	14.2	45.9	13.5	2.7	22.3	3.4
男性:40歳代	143	40.6	49.7	30.8	6.3	8.4	11.2	59.4	11.9	1.4	19.6	1.4
男性:50歳代	113	40.7	52.2	43.4	8.8	11.5	6.2	46.9	8.8	-	17.7	3.5
男性:60歳代	216	42.1	37.5	30.6	6.9	12.5	6.9	34.7	11.6	1.9	20.8	8.3
男性:70歳以上	120	35.8	34.2	30.8	4.2	10.8	10.8	23.3	12.5	2.5	17.5	9.2
女性:20歳代	93	40.9	60.2	58.1	25.8	25.8	28.0	52.7	18.3	2.2	10.8	6.5
女性:30歳代	133	49.6	63.2	52.6	24.1	22.6	26.3	56.4	29.3	0.8	6.8	3.0
女性:40歳代	174	48.9	62.6	55.2	21.3	25.3	32.2	51.7	19.0	1.7	7.5	5.2
女性:50歳代	177	55.4	58.2	57.1	22.0	22.6	31.6	44.6	15.8	0.6	7.9	5.1
女性:60歳代	223	50.2	43.9	42.6	15.7	11.2	22.9	31.8	10.3	-	14.3	6.3
女性:70歳以上	135	41.5	39.3	37.0	19.3	20.7	30.4	20.7	14.8	0.7	6.7	11.9

	標本数 (票)	(B)活動したいもの (%)										
		美術	音楽	演劇・演芸	舞踊	伝統芸能	生活文化	映像文化	文芸	その他	の活動 はない たいも	無回答
全体 (カッコ内は標本数)	100.0 (1,764)	20.8 (367)	11.6 (204)	3.0 (53)	3.7 (66)	2.4 (42)	25.0 (441)	7.1 (125)	4.6 (81)	1.2 (21)	30.7 (542)	21.0 (371)
性別												
男性	829	18.5	11.9	2.8	1.1	2.2	13.6	9.7	4.1	1.6	36.8	22.9
女性	935	22.9	11.2	3.2	6.1	2.6	35.1	4.8	5.0	0.9	25.3	19.4
性別×年齢												
男性:20歳代	89	12.4	18.0	3.4	-	-	9.0	15.7	5.6	2.2	39.3	23.6
男性:30歳代	148	20.9	12.8	3.4	3.4	2.0	25.7	12.2	3.4	-	35.1	17.6
男性:40歳代	143	21.0	15.4	2.8	0.7	0.7	9.1	13.3	4.2	-	42.7	17.5
男性:50歳代	113	18.6	15.0	3.5	0.9	0.9	8.8	12.4	2.7	1.8	36.3	26.5
男性:60歳代	216	17.6	8.8	2.8	0.5	3.2	10.2	5.6	3.2	3.7	37.0	25.9
男性:70歳以上	120	18.3	5.0	0.8	0.8	5.0	18.3	2.5	6.7	0.8	30.0	26.7
女性:20歳代	93	28.0	14.0	7.5	6.5	5.4	34.4	15.1	7.5	2.2	23.7	18.3
女性:30歳代	133	31.6	21.1	3.0	5.3	2.3	40.6	6.8	4.5	0.8	18.8	15.0
女性:40歳代	174	26.4	12.6	5.2	6.9	1.1	39.1	4.0	3.4	1.1	23.0	17.2
女性:50歳代	177	22.0	12.4	2.8	5.6	1.1	40.7	5.6	5.1	1.1	23.7	16.4
女性:60歳代	223	16.6	5.8	1.3	6.3	2.7	29.1	1.8	4.5	0.4	30.9	22.0
女性:70歳以上	135	17.8	5.2	1.5	5.9	4.4	27.4	0.7	6.7	-	28.9	26.7

(2) 文化芸術活動を続けるために必要なこと

「受講料・参加料が安い」「一緒に活動する仲間がいる」が5割を超えて上位。

問 26 あなたは、文化芸術活動をより長く続けていくために必要なことは何だと思いませんか。
(あてはまる番号にいくつでも○印)



◆属性別特徴

【性別】女性は「受講料・参加料が安い」が66.2%で最も高く、男性より21.1ポイント高い。

【性別・年齢別】男女とも20・30歳代で「一緒に活動する仲間がいる」が他の年齢層より高く、特に20歳代女性では7割を超えている。30～50歳代女性は「受講料・参加料が安い」が7割を超えて他の年齢層より高い。

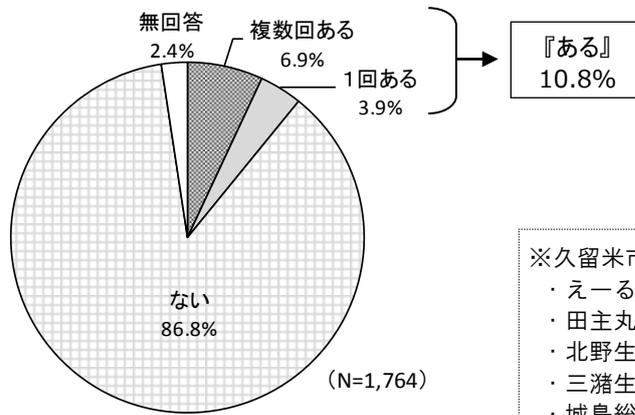
【ブロック別】東部A、東部B、北部B、西部Aでは「一緒に活動する仲間がいる」、それ以外の地域では「受講料・参加料が安い」が最も高い。南東部、中央部で「よい指導者がいる」、中央部、西部Bで「練習や制作を行う場所が多い」が他の地域よりやや高い。

	標本数 (票)	文化芸術活動を長く続けるために必要なこと (%)							
		が受 安講 い料 ・参 加料	う練 場習 所が 多作 い行	所発 表の 機 会 や 場	るよ い指 導者 が い	仲一 緒に 活 動 す る	そ の 他	特 に な い	無 回 答
全体 (カッコ内は標本数)	100.0 (1,764)	56.3 (993)	25.7 (454)	9.6 (169)	36.0 (635)	53.7 (947)	1.9 (33)	15.6 (276)	4.8 (84)
性別									
男性	829	45.1	22.1	10.3	33.4	52.8	0.8	21.4	4.3
女性	935	66.2	29.0	9.0	38.3	54.4	2.8	10.6	5.1
性別× 年齢別									
男性:20歳代	89	40.4	34.8	18.0	28.1	65.2	2.2	13.5	1.1
男性:30歳代	148	46.6	25.7	10.1	35.1	60.8	1.4	18.2	2.0
男性:40歳代	143	55.9	29.4	14.7	37.1	58.7	0.7	16.8	2.8
男性:50歳代	113	54.0	20.4	12.4	33.6	52.2	0.9	15.9	5.3
男性:60歳代	216	36.6	16.2	6.5	32.4	46.3	-	28.7	4.6
男性:70歳以上	120	40.8	11.7	4.2	32.5	39.2	0.8	28.3	10.0
女性:20歳代	93	60.2	32.3	12.9	29.0	75.3	3.2	4.3	7.5
女性:30歳代	133	72.2	38.3	13.5	36.8	60.9	6.0	6.0	4.5
女性:40歳代	174	78.2	32.8	9.8	46.0	58.0	2.3	8.0	3.4
女性:50歳代	177	72.3	28.8	6.2	40.1	53.7	3.4	6.2	2.8
女性:60歳代	223	61.0	22.0	7.2	37.7	44.4	1.8	15.7	5.8
女性:70歳以上	135	49.6	24.4	7.4	34.8	46.7	0.7	20.0	8.1
ブ ロ ッ ク 別									
東部A	128	49.2	17.2	10.2	31.3	54.7	-	21.9	3.9
東部B(田主丸)	109	49.5	18.3	10.1	38.5	56.0	1.8	16.5	6.4
北部A	161	55.9	26.7	13.7	31.7	52.2	1.9	12.4	6.2
北部B(北野)	118	56.8	25.4	6.8	34.7	59.3	1.7	21.2	0.8
中央東部	223	57.4	24.2	8.5	33.2	54.7	2.2	13.9	4.5
南東部	176	54.0	22.2	10.2	40.3	51.1	2.3	17.0	6.3
中央部	236	53.8	30.9	11.9	41.1	53.4	1.3	15.7	4.2
中央南部	298	60.1	26.8	10.1	36.6	53.0	2.0	13.1	6.4
南西部	147	63.9	30.6	7.5	36.7	52.4	2.0	15.0	2.0
西部A(城島)	70	51.4	24.3	4.3	34.3	54.3	7.1	17.1	7.1
西部B(三瀧)	98	61.2	31.6	6.1	32.7	52.0	-	14.3	3.1

(3) 生涯学習センターでの受講経験

生涯学習センターの講座を受講したことがある人は 10.8%。

問 27 あなたは、この3年間に、生涯学習センターで実施している講座を受講したことがありますか。(あてはまる番号に1つだけ○印)



※久留米市の生涯学習センターは、
 ・えーるピア久留米
 ・田主丸複合文化施設（そよ風ホール）
 ・北野生涯学習センター（旧北野公民館）
 ・三潯生涯学習センター（旧三潯公民館）
 ・城島総合文化センター の5か所です。

◆属性別特徴

【性別】女性は『ある』が男性より 7.9 ポイント高い。

【性別・年齢別】70歳以上男性と60歳代以上女性で『ある』が他の年齢層より高く、特に70歳以上女性では2割を超えている。

【ブロック別】北部B、南西部で「複数回ある」が1割を超えている。

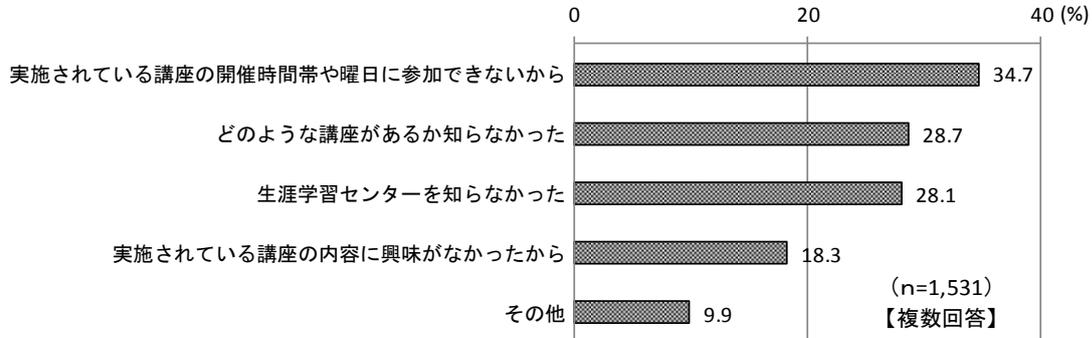
【職業別】家事に専念と無職は『ある』が他の職業より高い。農林漁業と家事に専念は「複数回ある」が他の職業より高い。

	標本数 (票)	生涯学習センターでの受講経験 (%)				
		複数 回ある	1 回ある	ない	無 回答	『ある』
全体 (カッコ内は標本数)	100.0 (1,764)	6.9 (122)	3.9 (69)	86.8 (1,531)	2.4 (42)	10.8 (191)
性別						
男性	829	4.3	2.3	91.3	2.1	6.6
女性	935	9.2	5.3	82.8	2.7	14.5
性別× 年齢別						
男性:20歳代	89	1.1	1.1	97.8	-	2.2
男性:30歳代	148	2.0	2.0	94.6	1.4	4.0
男性:40歳代	143	2.1	1.4	95.8	0.7	3.5
男性:50歳代	113	1.8	1.8	93.8	2.7	3.6
男性:60歳代	216	5.1	2.3	90.3	2.3	7.4
男性:70歳以上	120	13.3	5.0	76.7	5.0	18.3
女性:20歳代	93	2.2	2.2	92.5	3.2	4.4
女性:30歳代	133	6.0	7.5	85.0	1.5	13.5
女性:40歳代	174	6.9	8.0	83.3	1.7	14.9
女性:50歳代	177	9.6	4.0	83.1	3.4	13.6
女性:60歳代	223	12.6	3.1	82.1	2.2	15.7
女性:70歳以上	135	14.1	7.4	74.1	4.4	21.5
ブ ロ ッ ク 別						
東部A	128	5.5	3.1	89.8	1.6	8.6
東部B(田主丸)	109	7.3	6.4	84.4	1.8	13.7
北部A	161	4.3	1.2	91.9	2.5	5.5
北部B(北野)	118	13.6	3.4	82.2	0.8	17.0
中央東部	223	6.3	3.6	88.3	1.8	9.9
南東部	176	7.4	2.8	86.9	2.8	10.2
中央部	236	5.5	5.9	85.2	3.4	11.4
中央南部	298	6.0	3.7	87.2	3.0	9.7
南西部	147	10.2	4.8	83.7	1.4	15.0
西部A(城島)	70	2.9	8.6	84.3	4.3	11.5
西部B(三漕)	98	9.2	1.0	87.8	2.0	10.2
職 業 別						
農林漁業	45	13.3	-	82.2	4.4	13.3
自営業	184	6.0	3.8	88.0	2.2	9.8
給与所得者(常勤)	657	3.5	3.5	91.6	1.4	7.0
パート・アルバイト (学生は除く)	260	5.4	2.3	90.0	2.3	7.7
学生	25	-	-	100.0	-	-
家事に専念	214	13.6	7.0	76.2	3.3	20.6
無職	335	11.0	5.1	80.9	3.0	16.1
その他	30	6.7	-	83.3	10.0	6.7
無回答	14	-	7.1	85.7	7.1	7.1

(4) 受講したことがない理由

「実施されている講座の開催時間帯や曜日に参加できないから」が 34.7%で 1 位。

問 27 付問 **問 27 で 3 に回答した人に** これまで受講したことがない理由は何ですか。
(あてはまる番号にいくつでも○印)



◆属性別特徴

【性別】女性は「開催時間帯や曜日に参加できない」が 43.2%で最も高く、男性は「生涯学習センターを知らなかった」が 34.3%で最も高い。

【年齢別】20・30 歳代では「生涯学習センターを知らなかった」、40 歳代以上では「開催時間帯や曜日に参加できない」が最も高い。年齢が下がるほど「どのような講座があるかを知らない」が高くなり、年齢が上がるほど「実施されている講座の内容に興味が無い」が高くなる傾向にある。

【ブロック別】中央部、中央南部、南西部で「生涯学習センターを知らなかった」、南東部、中央南部、南西部、西部Bで「どのような講座があるかを知らない」が3割を超えて他の地域より高い。

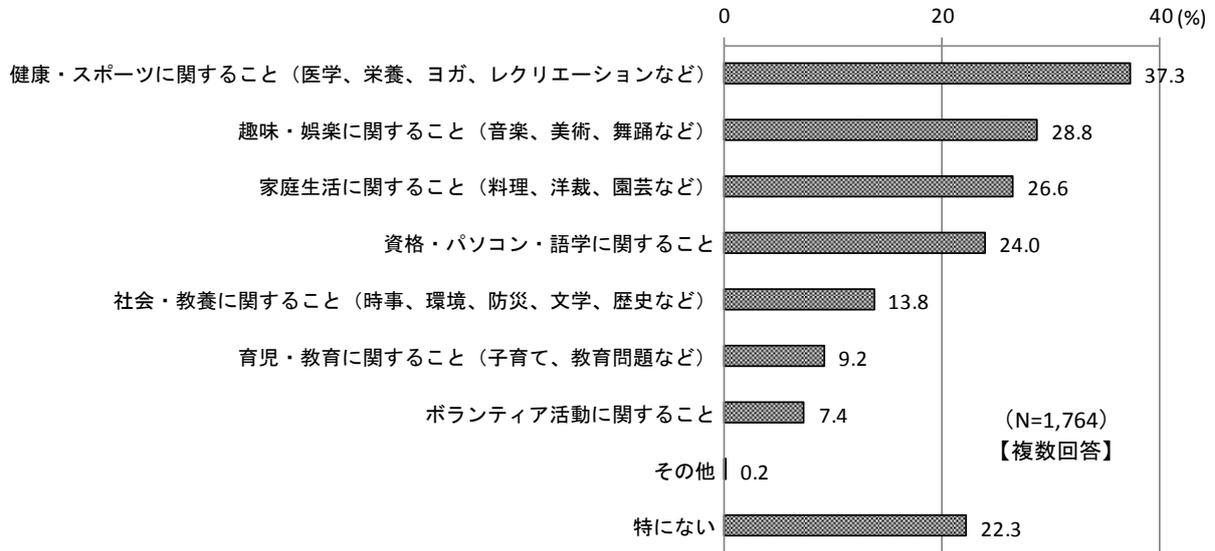
【職業別】農林漁業と無職は「実施されている講座の内容に興味が無い」、自営業、給与所得者、パート・アルバイト、家事に専念は「開催時間帯や曜日に参加できない」が他の職業より高い。

	標本数 (票)	受講したことがない理由 (%)					
		生涯学習センターを知らなかった	どのような講座があったか	内容に興味がなかった	実施された講座の味がない	参加できない曜日	実施された時間帯にいない
全体 (カッコ内は標本数)	100.0 (1,531)	28.1 (430)	28.7 (439)	18.3 (280)	34.7 (531)	9.9 (151)	1.6 (24)
性別							
男性	757	34.3	33.0	20.9	26.0	8.1	1.2
女性	774	22.0	24.4	15.8	43.2	11.6	1.9
年齢別							
20歳代	173	55.5	34.1	12.7	17.9	5.2	0.6
30歳代	253	37.5	34.8	13.0	30.0	7.1	1.2
40歳代	282	32.3	32.6	14.5	38.7	5.0	1.1
50歳代	253	22.1	24.5	18.6	45.5	9.9	0.8
60歳代	378	17.2	24.6	23.5	37.0	13.2	1.9
70歳以上	192	14.1	23.4	25.0	31.3	18.2	4.2
ブロック別							
東部A	115	26.1	29.6	15.7	31.3	8.7	1.7
東部B(田主丸)	92	21.7	21.7	27.2	38.0	15.2	2.2
北部A	148	29.1	24.3	17.6	37.8	12.8	1.4
北部B(北野)	97	13.4	29.9	24.7	35.1	14.4	2.1
中央東部	197	27.4	25.4	18.8	35.0	10.7	2.5
南東部	153	25.5	35.3	15.7	34.6	10.5	2.0
中央部	201	35.3	28.9	20.4	26.4	7.0	2.0
中央南部	260	33.1	31.5	15.8	35.8	9.2	1.2
南西部	123	39.8	30.1	12.2	27.6	7.3	-
西部A(城島)	59	18.6	22.0	25.4	50.8	5.1	-
西部B(三瀨)	86	16.3	30.2	16.3	44.2	8.1	1.2
職業別							
農林漁業	37	21.6	29.7	37.8	16.2	13.5	5.4
自営業	162	22.8	29.6	17.9	35.2	13.0	1.2
給与所得者(常勤)	602	35.0	32.6	14.6	36.2	5.8	1.0
パート・アルバイト (学生は除く)	234	26.1	23.9	17.1	45.3	8.5	-
学生	25	48.0	32.0	8.0	12.0	-	-
家事に専念	163	17.8	23.9	19.6	38.0	15.3	1.8
無職	271	22.1	25.8	25.8	24.7	15.5	3.7
その他	25	32.0	28.0	12.0	36.0	4.0	4.0
無回答	12	33.3	33.3	16.7	25.0	16.7	-

(5) 生涯学習センターで受講したい講座

受講してみたい講座では「健康・スポーツに関すること」が 37.3% で 1 位。

問 28 今後、あなたが生涯学習センターで受講してみたいと思う講座の分野は次のうちどれですか。(あてはまる番号にいくつでも○印)



◆属性別特徴

- 【性別】 女性はほとんどの講座で男性より高く、男性は「特になし」が女性より 13.8 ポイント高い。
- 【性別・年齢別】 男性では 30 歳代で「趣味・娯楽に関すること」「育児に関すること」「資格・パソコン・語学に関すること」、50 歳代で「健康・スポーツに関すること」が他の年齢層より高い。女性では、20・30 歳代で「育児に関すること」、30～50 歳代で「健康・スポーツに関すること」が他の年齢層より高い。
- 【ブロック別】 全ての地域で「健康・スポーツに関すること」が最も高く、特に北部 A、中央南部、西部 B で 4 割を超えて高い。
- 【職業別】 給与所得者、パート・アルバイト、学生では「資格・パソコン・語学に関すること」、パート・アルバイト、家事に専念では「家庭生活に関すること」が他の職業より高い。

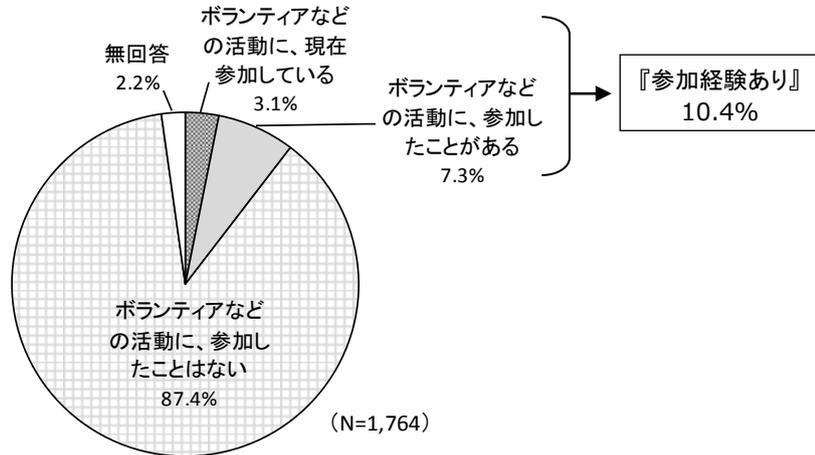
	標本数(票)	受講してみたい分野 (%)											
		(趣味・音楽、美術、舞踊など)	(学、歴史など)	(時事、環境、防災、文)	(社会・教養に関すること)	(クリエーションなど)	(健康・スポーツに関すること)	(家庭・生活に関すること)	(育児・教育に関すること)	(資格・パソコン・語学に関すること)	(ボランティア活動に関すること)	(その他)	(特にない)
全体 (カッコ内は標本数)	100.0 (1,764)	28.8 (508)	13.8 (244)	37.3 (658)	26.6 (469)	9.2 (163)	24.0 (424)	7.4 (131)	0.2 (3)	22.3 (393)	5.4 (95)		
性別													
男性	829	26.8	16.3	28.8	12.8	6.4	23.8	7.6	-	29.6	6.6		
女性	935	30.6	11.7	44.8	38.8	11.8	24.3	7.3	0.3	15.8	4.3		
性別×年齢別													
男性:20歳代	89	28.1	15.7	27.0	5.6	10.1	25.8	6.7	-	32.6	9.0		
男性:30歳代	148	33.8	13.5	27.0	18.2	17.6	33.8	6.8	-	29.1	2.7		
男性:40歳代	143	29.4	18.2	31.5	15.4	7.0	25.9	9.1	-	26.6	7.0		
男性:50歳代	113	24.8	11.5	34.5	11.5	5.3	26.5	6.2	-	22.1	8.0		
男性:60歳代	216	21.8	17.1	25.0	12.5	-	17.6	7.4	-	35.2	6.5		
男性:70歳以上	120	25.0	20.8	30.8	10.0	1.7	15.8	9.2	-	28.3	8.3		
女性:20歳代	93	34.4	19.4	45.2	44.1	29.0	38.7	7.5	-	11.8	4.3		
女性:30歳代	133	30.8	11.3	51.9	42.9	35.3	27.1	4.5	0.8	8.3	4.5		
女性:40歳代	174	35.6	9.2	56.3	40.8	15.5	39.7	8.6	-	10.3	2.9		
女性:50歳代	177	31.1	9.0	50.8	37.9	1.7	22.0	8.5	0.6	12.4	4.5		
女性:60歳代	223	29.6	11.2	36.8	38.1	1.8	15.7	5.8	-	18.4	4.0		
女性:70歳以上	135	22.2	14.1	28.1	31.1	1.5	8.9	8.9	0.7	33.3	5.9		
ブロック別													
東部A	128	25.0	7.8	32.0	28.9	6.3	21.1	6.3	-	25.8	7.8		
東部B(田主丸)	109	24.8	10.1	33.0	22.0	10.1	22.9	8.3	-	26.6	5.5		
北部A	161	33.5	15.5	46.0	30.4	11.2	26.1	6.2	-	18.6	3.1		
北部B(北野)	118	24.6	12.7	39.0	22.9	9.3	28.0	6.8	1.7	21.2	5.1		
中央東部	223	32.7	13.5	38.1	23.3	8.1	25.6	8.1	-	21.5	5.4		
南東部	176	29.0	13.6	31.3	30.7	9.7	18.2	8.0	-	22.7	6.8		
中央部	236	27.5	19.1	30.1	22.9	7.6	22.5	10.6	-	26.7	5.5		
中央南部	298	28.2	14.8	40.9	26.2	12.1	29.2	7.7	-	21.1	5.7		
南西部	147	28.6	14.3	39.5	32.0	8.2	21.8	6.8	-	22.4	2.0		
西部A(城島)	70	30.0	11.4	35.7	31.4	4.3	21.4	4.3	-	15.7	10.0		
西部B(三瀬)	98	30.6	11.2	45.9	25.5	11.2	21.4	3.1	1.0	18.4	4.1		
職業別													
農林漁業	45	20.0	17.8	28.9	15.6	6.7	11.1	4.4	-	31.1	8.9		
自営業	184	25.0	9.8	34.2	22.3	4.9	16.3	6.5	-	27.2	5.4		
給与所得者(常勤)	657	30.6	15.4	39.9	24.8	12.0	29.5	8.1	0.2	20.4	4.6		
パート・アルバイト (学生は除く)	260	28.5	12.3	44.2	35.8	9.6	30.0	6.2	0.4	15.0	3.8		
学生	25	36.0	20.0	44.0	24.0	12.0	28.0	8.0	-	20.0	4.0		
家事に専念	214	34.6	10.3	39.7	38.3	14.0	16.8	7.5	0.5	17.3	6.1		
無職	335	24.5	15.2	27.5	19.7	3.0	17.9	8.1	-	31.9	7.2		
その他	30	33.3	20.0	33.3	16.7	10.0	33.3	6.7	-	13.3	6.7		
無回答	14	21.4	7.1	50.0	42.9	7.1	28.6	7.1	-	21.4	7.1		

4-5 高齢者支援

(1) 高齢者支援ボランティア活動の参加経験

最近5年間で高齢者を支援するボランティア活動に参加した人は10.4%。

問 29 あなたは、最近5年間で、高齢者を支援するボランティアなどの活動に参加したことがありますか。(あてはまる番号に1つだけ○印)



◆属性別特徴

【性別】『参加経験あり』は性別による違いはほとんどない。

【年齢別】60歳代以上は『参加経験あり』が他の年齢層より高い。70歳以上では「現在参加している」も12.5%と高い。

【同居家族別】65歳以上の方がいる世帯では『参加経験あり』が65歳以上の方がいない世帯より高い。

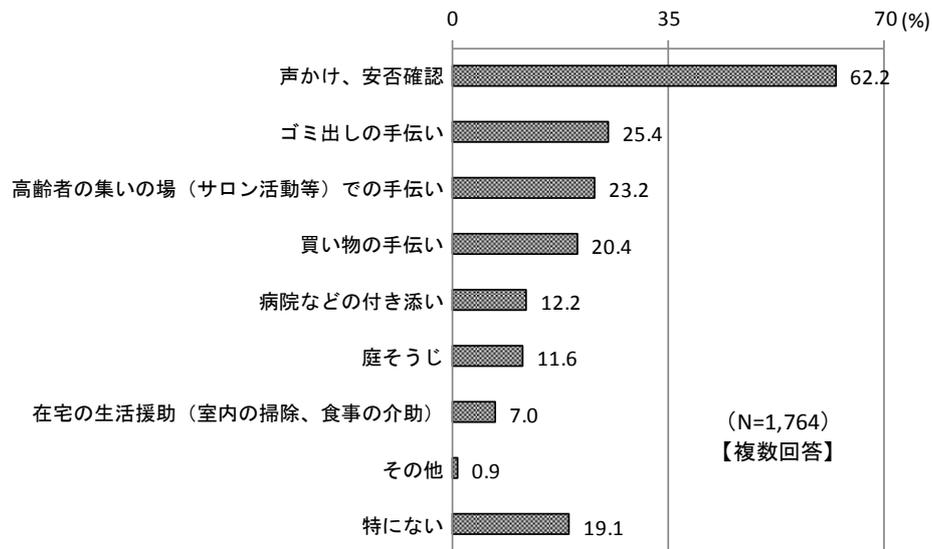
【自治会加入状況別】加入しているは『参加経験あり』が加入していないより高い。

		標本数 (票)	高齢者支援ボランティア活動の参加経験 (%)				
			ボランティア活動に、現在参加している	ボランティア活動がある、参加したことがある	ボランティア活動はない、参加したことがある	無回答	『参加経験あり』
全体 (カッコ内は標本数)		100.0 (1,764)	3.1 (55)	7.3 (128)	87.4 (1,542)	2.2 (39)	10.4 (183)
性別	男性	829	3.1	7.7	87.3	1.8	10.8
	女性	935	3.1	6.8	87.5	2.6	9.9
年齢別	20歳代	182	0.5	8.8	88.5	2.2	9.3
	30歳代	281	0.7	5.7	91.5	2.1	6.4
	40歳代	317	0.3	4.7	93.4	1.6	5.0
	50歳代	290	0.3	8.6	88.3	2.8	8.9
	60歳代	439	4.1	6.6	87.5	1.8	10.7
	70歳以上	255	12.5	10.6	73.7	3.1	23.1
ブロック別	東部A	128	1.6	7.0	90.6	0.8	8.6
	東部B(田主丸)	109	1.8	6.4	91.7	-	8.2
	北部A	161	5.0	6.8	86.3	1.9	11.8
	北部B(北野)	118	3.4	8.5	83.9	4.2	11.9
	中央東部	223	4.5	6.3	87.4	1.8	10.8
	南東部	176	2.3	6.3	88.6	2.8	8.6
	中央部	236	2.5	8.9	86.0	2.5	11.4
	中央南部	298	2.3	7.4	87.6	2.7	9.7
	南西部	147	3.4	8.2	88.4	-	11.6
同居家族別	世帯の中に65～74歳の方がいる	601	5.3	7.3	85.0	2.3	12.6
	世帯の中に75歳以上の方がいる	382	5.8	7.3	84.0	2.9	13.1
	世帯の中に65歳以上の方はいない	889	1.0	7.3	89.9	1.8	8.3
	無回答	10	-	-	100.0	-	-
自治会加入状況別	加入している	1,248	4.2	8.6	85.0	2.2	12.8
	加入していない	318	0.6	5.0	91.8	2.5	5.6
	わからない	174	0.6	2.9	94.8	1.7	3.5
	無回答	24	-	-	100.0	-	-

(2) 取り組むことができる地域での支え合い活動

高齢者へのちょっとした手助け等で取り組むことができると思う活動は「声かけ、安否確認」が 62.2%で 1 位。

問 30 高齢者に対する支援の担い手として、地域住民や住民団体などが活躍することが期待されています。高齢者へのちょっとした手助け等の支援で、あなたはどのようなものに取り組むことができると思いますか。(あてはまる番号にいくつでも○印)



◆属性別特徴

【性別】女性は「庭そうじ」「その他」を除くすべての項目で男性より高く、男性は「特にない」が女性より 7.4 ポイント高い。

【年齢別】年齢が下がるほど「買い物の手伝い」「病院などの付き添い」は高くなる傾向にあり、年齢が上がるほど「庭そうじ」が高くなる傾向にある。

【ブロック別】東部B、北部Bで「買い物の手伝い」、東部B、北部A、中央東部で「ゴミ出しの手伝い」、西部Bで「高齢者の集いの場での手伝い」が他の地域よりやや高い。

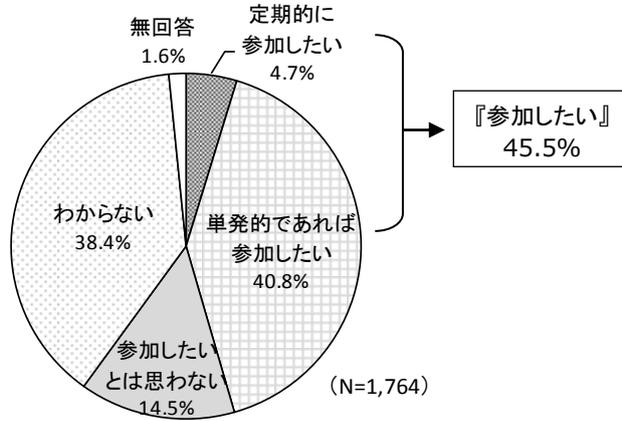
【同居家族別】65歳以上の方がいる世帯では「庭そうじ」、65歳以上の方がいない世帯では「声かけ、安否確認」「病院などの付き添い」が他の世帯よりやや高い。

		標本数(票)	取り組むことができる高齢者支援活動 (%)									
			で(高 のサ 手ロ 伝い 活集 動の 場)	声 か け、 安 否 確 認	ゴ ミ 出 し の 手 伝 い	庭 そ う じ	買 い 物 の 手 伝 い	い 病 院 な ど の 付 き 添 え	事(在 の室 介内 助の 掃 除、 食 援)	在 宅 の 生 活 助 助	そ の 他	特 に な い
全体 (カッコ内は標本数)		100.0 (1,764)	23.2 (410)	62.2 (1,098)	25.4 (448)	11.6 (204)	20.4 (359)	12.2 (215)	7.0 (124)	0.9 (15)	19.1 (337)	2.2 (38)
性別	男性	829	17.6	59.3	23.3	11.8	17.4	10.5	5.7	1.3	23.0	2.4
	女性	935	28.2	64.8	27.3	11.3	23.0	13.7	8.2	0.4	15.6	1.9
年齢別	20歳代	182	24.7	57.7	23.1	7.1	25.3	18.1	11.0	-	20.9	1.6
	30歳代	281	24.9	68.0	27.8	8.9	21.7	13.9	6.0	1.1	16.0	0.7
	40歳代	317	19.9	65.9	28.4	12.9	22.4	11.4	6.9	-	15.5	1.6
	50歳代	290	25.5	65.2	27.2	11.0	21.4	12.4	6.9	0.7	14.8	1.4
	60歳代	439	23.5	60.4	21.9	12.3	17.5	11.2	5.7	0.5	21.9	3.4
	70歳以上	255	21.6	54.5	24.7	15.3	16.5	8.6	7.8	3.1	25.9	3.5
ブロック別	東部A	128	26.6	53.9	23.4	14.8	21.9	10.2	10.2	1.6	25.0	2.3
	東部B(田主丸)	109	17.4	61.5	32.1	16.5	27.5	16.5	10.1	-	20.2	3.7
	北部A	161	24.2	66.5	30.4	10.6	22.4	10.6	4.3	0.6	16.8	1.2
	北部B(北野)	118	19.5	67.8	21.2	12.7	26.3	13.6	10.2	0.8	13.6	1.7
	中央東部	223	23.3	62.3	30.0	13.9	18.8	14.3	7.2	1.3	19.7	3.1
	南東部	176	21.0	56.8	26.7	10.2	24.4	15.9	5.7	2.3	21.6	2.3
	中央部	236	19.9	63.1	21.2	9.3	15.7	11.4	6.8	0.4	21.2	2.5
	中央南部	298	25.2	60.1	26.5	9.4	17.1	10.1	5.4	0.3	19.8	2.3
	南西部	147	25.9	63.9	21.1	13.6	17.7	7.5	6.8	1.4	14.3	0.7
族別	世帯の中に65～74歳の方がいる	601	20.6	59.1	26.1	12.5	19.5	11.3	6.0	1.3	23.0	3.3
	世帯の中に75歳以上の方がいる	382	23.3	59.7	26.4	13.1	19.4	10.5	7.6	1.6	21.2	2.9
	世帯の中に65歳以上の方はいない	889	24.6	64.7	25.2	10.6	21.0	13.3	7.3	0.3	16.1	1.3
無回答	10	30.0	60.0	10.0	10.0	10.0	10.0	-	-	-	30.0	-

(3) 地域での支え合い活動への参加意向

住民参加による地域での支えあい活動への参加意向は 45.5%。

問 31 あなたは、問 30 のような住民参加による地域での支え合い活動に今後参加してみたいと思いますか。(あてはまる番号に1つだけ○印)



◆属性別特徴

【性別】 女性は『参加したい』が男性より 8.1 ポイント高い。

【年齢別】 20 歳代と 70 歳以上で「定期的に参加したい」が他の年齢層より高い。

【同居家族別】 65 歳以上の方がいない世帯では「単発的であれば参加したい」が 65 歳以上の方がいる世帯より高い。

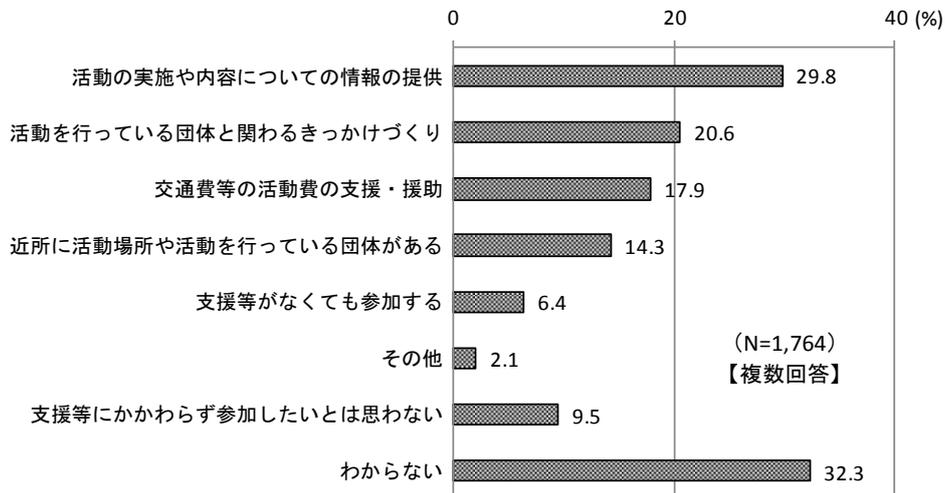
【自治会加入状況別】 加入しているでは「単発的であれば参加したい」が加入していないより 9.7 ポイント高い。

	標本数 (票)	地域での支え合い活動への参加意向 (%)					
		定期的に参加したい	単発的であれば参加したい	参加したいとは思わない	わからない	無回答	『参加したい』
全体 (カッコ内は標本数)	100.0 (1,764)	4.7 (83)	40.8 (720)	14.5 (255)	38.4 (678)	1.6 (28)	45.5 (803)
性別							
男性	829	4.2	37.0	16.5	40.5	1.7	41.2
女性	935	5.1	44.2	12.6	36.6	1.5	49.3
年齢別							
20歳代	182	7.1	36.8	18.1	36.8	1.1	43.9
30歳代	281	2.5	42.7	13.9	40.6	0.4	45.2
40歳代	317	3.8	41.3	15.8	38.2	0.9	45.1
50歳代	290	2.4	43.8	11.0	41.7	1.0	46.2
60歳代	439	4.3	41.0	14.4	37.8	2.5	45.3
70歳以上	255	9.8	37.3	14.9	34.9	3.1	47.1
同居家族別							
世帯の中に65～74歳の方がいる	601	5.0	38.8	15.3	38.3	2.7	43.8
世帯の中に75歳以上の方がいる	382	6.8	37.7	14.1	38.5	2.9	44.5
世帯の中に65歳以上の方はいない	889	4.0	43.0	13.9	38.2	0.8	47.0
無回答	10	-	40.0	10.0	50.0	-	40.0
自治会加入状況別							
加入している	1,248	4.7	44.3	12.5	36.9	1.6	49.0
加入していない	318	5.0	34.6	18.9	39.0	2.5	39.6
わからない	174	3.4	28.2	19.0	49.4	-	31.6
無回答	24	8.3	33.3	25.0	33.3	-	41.6

(4) 支え合い活動に参加するための支援や環境

「活動の実施や内容の情報提供」が29.8%で1位。「参加のきっかけづくり」と「活動費の支援・援助」が上位。

問 32 あなたは、どのような支援や環境等があれば、住民参加による地域での支え合い活動に参加したいと思いますか。(あてはまる番号にいくつでも○印)



◆属性別特徴

【性別】女性「活動内容などの情報提供」が男性より4.1ポイント高い。

【年齢別】年齢が下がるほど「活動費の支援・援助」「参加のきっかけづくり」は高くなる傾向にある。

【同居家族別】65歳以上の方がいない世帯では「活動費の支援・援助」「参加のきっかけづくり」が65歳以上の方がいる世帯よりやや高い。

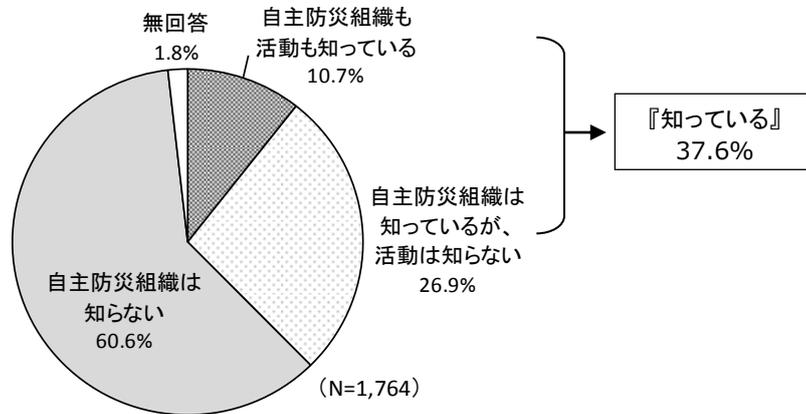
		標本数 (票)	地域での支え合い活動に参加するための支援や環境 (%)								
			参加支援等がなくても	交通費等の援助活動費	提供の活動情報内容	活動の実行場	近所にある活動場所	活動のきっかけづくり	その他	思わぬ参加の仕方	わからない
全体 (カッコ内は標本数)		100.0 (1,764)	6.4 (113)	17.9 (315)	29.8 (525)	14.3 (253)	20.6 (363)	2.1 (37)	9.5 (167)	32.3 (569)	2.6 (46)
性別	男性	829	6.3	17.0	27.6	12.7	19.4	2.1	11.1	33.7	1.8
	女性	935	6.5	18.6	31.7	15.8	21.6	2.1	8.0	31.0	3.3
年齢別	20歳代	182	7.1	26.4	30.8	11.0	25.3	2.7	7.7	31.9	1.1
	30歳代	281	3.9	21.0	29.2	16.0	22.1	3.6	8.9	31.0	0.4
	40歳代	317	3.2	22.4	31.2	17.0	23.0	3.8	8.2	28.4	1.9
	50歳代	290	5.9	18.3	31.4	13.4	24.5	1.4	8.3	32.1	2.4
	60歳代	439	7.7	13.7	30.8	12.8	14.1	0.7	10.7	35.3	3.2
	70歳以上	255	11.0	9.4	24.3	15.3	19.2	1.2	12.2	33.7	6.3
同居家族別	世帯の中に65～74歳の方がいる	601	7.3	13.1	29.5	15.5	16.1	1.3	10.6	35.1	4.0
	世帯の中に75歳以上の方がいる	382	8.1	18.3	26.4	15.2	20.4	1.0	8.6	32.7	4.5
	世帯の中に65歳以上の方はいない	889	5.4	20.0	30.9	13.5	22.7	2.9	8.8	30.6	1.5
	無回答	10	10.0	30.0	40.0	10.0	20.0	-	20.0	20.0	-

4-6 防災

(1) 自主防災組織の認知

自主防災組織を『知っている』人は 37.6%、「活動内容まで知っている」人は 10.7%。

問 15 あなたは、地域の自主防災組織とその活動を知っていますか。(あてはまる番号に1つだけ○印)



※「自主防災組織」とは……

校区コミュニティ組織などを母体として、災害時には住民がお互いに協力しあいながら初期消火、救出活動などの活動を行う組織です。

◆属性別特徴

【性別】『知っている』は男女ともほとんど同じだが、男性は「活動内容まで知っている」が女性よりやや高い。

【年齢別】年齢が上がるほど『知っている』が高くなる傾向にあり、70歳以上では「活動内容まで知っている」が2割を超えている。

【ブロック別】東部B、北部B、西部Bで「活動内容まで知っている」が他の地域より高い。中央南部は『知っている』が3割を下回っている。

【同居家族別】65歳以上の方がいる世帯では「活動内容まで知っている」が65歳以上の方がいない世帯より高い。

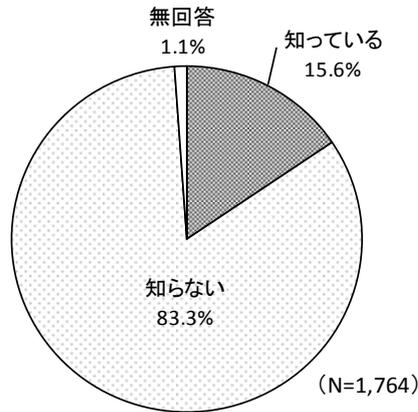
【自治会加入状況別】加入しているでは『知っている』が加入していないより23.0ポイント高い。

		標本数 (票)	自主防災組織の認知 (%)				『知っている』
			動も自主防災組織も知っている	動は自主防災組織が、は知らない	ら自主防災組織は知らない	無回答	
全体 (カッコ内は標本数)		100.0 (1,764)	10.7 (188)	26.9 (475)	60.6 (1,069)	1.8 (32)	37.6 (663)
性別	男性	829	11.7	25.5	61.0	1.8	37.2
	女性	935	9.7	28.2	60.2	1.8	37.9
年齢別	20歳代	182	5.5	21.4	72.0	1.1	26.9
	30歳代	281	5.0	19.2	74.4	1.4	24.2
	40歳代	317	8.5	24.3	66.2	0.9	32.8
	50歳代	290	9.3	29.3	60.0	1.4	38.6
	60歳代	439	12.1	31.0	54.7	2.3	43.1
	70歳以上	255	22.4	32.9	41.2	3.5	55.3
ブロック別	東部A	128	11.7	31.3	54.7	2.3	43.0
	東部B(田主丸)	109	24.8	24.8	49.5	0.9	49.6
	北部A	161	12.4	32.3	54.0	1.2	44.7
	北部B(北野)	118	16.1	30.5	53.4	-	46.6
	中央東部	223	9.4	28.3	61.4	0.9	37.7
	南東部	176	6.3	29.0	60.8	4.0	35.3
	中央部	236	5.5	27.1	66.1	1.3	32.6
	中央南部	298	7.0	21.1	69.8	2.0	28.1
	南西部	147	12.2	21.8	64.6	1.4	34.0
同居家別	西部A(城島)	70	10.0	27.1	60.0	2.9	37.1
	西部B(三瀬)	98	16.3	28.6	51.0	4.1	44.9
	世帯の中に65～74歳の方がいる	601	14.3	30.3	53.6	1.8	44.6
	世帯の中に75歳以上の方がいる	382	17.0	28.5	51.6	2.9	45.5
入自治会別	世帯の中に65歳以上の方はいない	889	6.9	24.6	67.3	1.2	31.5
	加入している	1,248	13.5	30.9	53.5	2.0	44.4
	加入していない	318	3.5	17.9	76.7	1.9	21.4
	わからない	174	3.4	16.1	79.9	0.6	19.5
別加	無回答	24	8.3	16.7	75.0	-	25.0

(2) 災害時要援護者名簿の認知

災害時の避難に支援が必要な人が「災害時要援護者名簿」に登録できることを知っている人は 15.6%。

問 16 あなたは、災害発生時の避難にあたり支援を必要とする人には「災害時要援護者名簿」に登録できることを知っていますか。(あてはまる番号に1つだけ○印)



◆属性別特徴

- 【年齢別】年齢が上がるほど「知っている」が高くなる。30歳代以下では「知っている」は1割に満たない。
- 【ブロック別】東部Bでは「知っている」が3割近くと他の地域より高く、南東部、中央部、南西部では他の地域より低い。
- 【同居家族別】65歳以上の方がいる世帯では「知っている」が65歳以上の方がいない世帯より高い。
- 【自治会加入状況別】自治会に加入している人は「知っている」が19.6%で、加入していない人より13.9ポイント高い。

◆久留米市では、介護が必要な高齢者の方や障害をお持ちの方など災害発生時に自力または家族の協力による避難が困難な方に、災害時要援護者名簿に事前に登録していただき、市と地域等がその情報を共有しておくことにより、一体となって避難情報の伝達や安否確認などの支援を行う取り組みを推進しています。

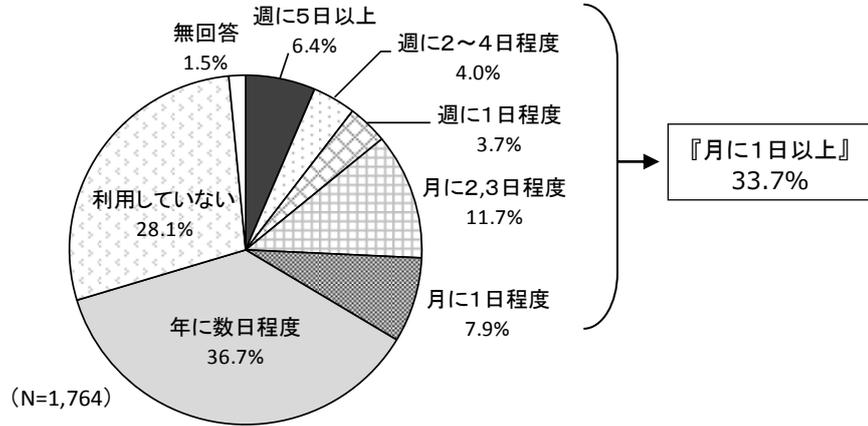
		標本数 (票)	災害時要援護者名簿の認知(%)		
			知っている	知らない	無回答
全体 (カッコ内は標本数)		100.0 (1,764)	15.6 (275)	83.3 (1,469)	1.1 (20)
性別	男性	829	15.3	83.6	1.1
	女性	935	15.8	83.0	1.2
年齢別	20歳代	182	7.1	92.3	0.5
	30歳代	281	8.2	90.4	1.4
	40歳代	317	10.7	88.6	0.6
	50歳代	290	15.9	83.1	1.0
	60歳代	439	20.3	78.8	0.9
	70歳以上	255	27.5	70.2	2.4
ブロック別	東部A	128	18.8	79.7	1.6
	東部B(田主丸)	109	27.5	71.6	0.9
	北部A	161	16.8	83.2	-
	北部B(北野)	118	18.6	81.4	-
	中央東部	223	14.3	85.2	0.4
	南東部	176	11.9	86.9	1.1
	中央部	236	10.6	88.6	0.8
	中央南部	298	16.8	80.5	2.7
	南西部	147	11.6	87.1	1.4
	西部A(城島)	70	14.3	84.3	1.4
西部B(三瀧)	98	17.3	81.6	1.0	
同居家族別	世帯の中に65～74歳の方がいる	601	20.5	77.9	1.7
	世帯の中に75歳以上の方がいる	382	20.7	77.7	1.6
	世帯の中に65歳以上の方はいない	889	11.1	88.2	0.7
	無回答	10	10.0	90.0	-
自治会加入状況別	加入している	1,248	19.6	79.1	1.4
	加入していない	318	5.7	93.4	0.9
	わからない	174	5.7	94.3	-
	無回答	24	12.5	87.5	-

4-7 公共交通機関の利用状況

(1) 公共交通機関の利用頻度

ふだんの生活で公共交通機関を月に1日以上利用している人は33.7%。

問 33 あなたは、ふだんの生活の中で鉄道、バスなどの公共交通機関を、どれくらいの頻度で利用していますか。(あてはまる番号に1つだけ○印)



◆属性別特徴

【性別】『月に1日以上』は性別による差はほとんどないが、男性は「利用していない」が女性より4.3ポイント高い。

【年齢別】年齢が下がるほど「週に5日以上」が高くなる傾向にある。

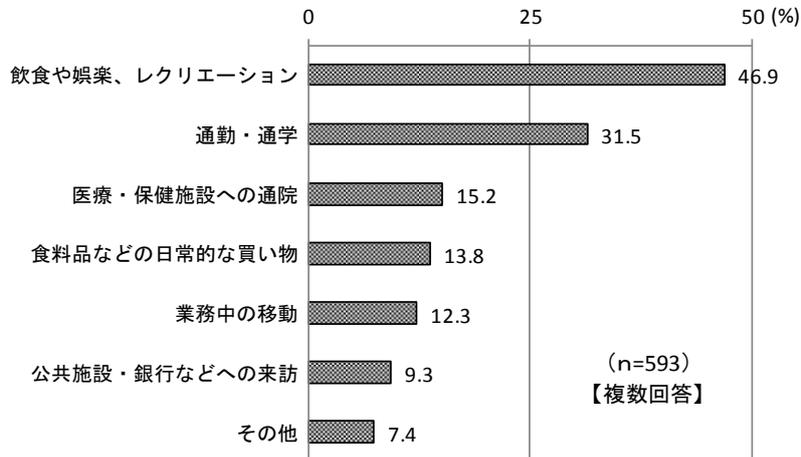
【ブロック別】『月に1日以上』は中央部、中央南部で4割を超えて他の地域より高く、東部Bと西部Aでは1割台で低い。

	標本数 (票)	公共交通機関の利用頻度 (%)									『月に1日以上』
		週に5日以上	週に2~4日程度	週に1日程度	月に2~3日程度	月に1日程度	年に数日程度	利用していない	無回答		
全体 (カッコ内は標本数)	100.0 (1,764)	6.4 (113)	4.0 (70)	3.7 (65)	11.7 (206)	7.9 (139)	36.7 (648)	28.1 (496)	1.5 (27)	33.7 (593)	
性別											
男性	829	7.0	3.0	4.0	11.6	8.3	34.1	30.4	1.6	33.9	
女性	935	5.9	4.8	3.4	11.8	7.5	39.0	26.1	1.5	33.4	
年齢別											
20歳代	182	13.2	6.6	4.4	17.0	8.2	27.5	22.5	0.5	49.4	
30歳代	281	7.8	3.2	4.6	6.0	10.0	34.9	33.1	0.4	31.6	
40歳代	317	10.1	1.6	2.2	12.0	6.6	42.3	24.3	0.9	32.5	
50歳代	290	6.2	4.5	3.4	13.1	6.9	39.7	24.8	1.4	34.1	
60歳代	439	3.0	3.0	3.2	10.9	6.6	38.5	33.0	1.8	26.7	
70歳以上	255	1.6	7.1	5.1	13.3	10.2	32.2	26.7	3.9	37.3	
ブロック別											
東部A	128	2.3	2.3	1.6	9.4	5.5	41.4	35.9	1.6	21.1	
東部B(田主丸)	109	3.7	1.8	0.9	6.4	0.9	39.4	45.0	1.8	13.7	
北部A	161	8.1	5.0	4.3	12.4	8.7	33.5	25.5	2.5	38.5	
北部B(北野)	118	3.4	3.4	5.1	8.5	2.5	42.4	33.1	1.7	22.9	
中央東部	223	4.5	5.4	3.6	12.6	11.2	33.2	28.3	1.3	37.3	
南東部	176	3.4	5.7	4.5	10.8	8.5	39.2	26.1	1.7	32.9	
中央部	236	9.3	6.4	8.1	16.5	9.3	31.4	17.8	1.3	49.6	
中央南部	298	10.7	3.7	1.3	15.4	9.1	36.6	21.5	1.7	40.2	
南西部	147	7.5	1.4	4.8	8.8	10.2	38.1	27.9	1.4	32.7	
西部A(城島)	70	2.9	1.4	1.4	8.6	2.9	32.9	48.6	1.4	17.2	
西部B(三潁)	98	6.1	2.0	2.0	6.1	8.2	43.9	31.6	-	24.4	

(2) 公共交通機関の利用目的

公共交通機関の利用目的は「飲食や娯楽、レクリエーション」が46.9%で1位、「通勤・通学」が31.5%で2位。

問 33 付問 問 33 で 1～5 に回答した人に 公共交通機関を利用する主な目的は何ですか。
(あてはまる番号にいくつでも○印)



◆属性別特徴

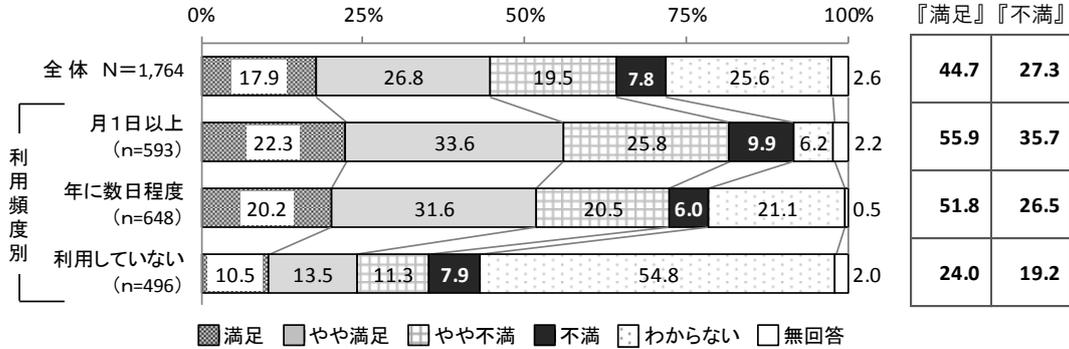
- 【性別】 男性は「通勤・通学」「業務中の移動」が女性より高く、女性は「日常的な買い物」「医療・保健施設などへの通院」「公共施設・銀行などへの来訪」が男性より高い。
- 【年齢別】 20～50歳代では「通勤・通学」が他の年齢層より高い。年齢が上がるほど「医療・保健施設などへの通院」が高くなり、70歳以上は40.0%と特に高い。
- 【ブロック別】 北部A、北部B、中央南部では「通勤・通学」、南東部では「日常的な買い物」「医療・保健施設への通院」「公共施設・銀行などへの来訪」が他の地域より高い。

	標本数 (票)	公共交通機関の利用目的 (%)							
		通勤・通学	常食料品などの日常的な買い物	医療・保健施設への通院	公共施設・銀行などへの来訪	業務中の移動	飲食や娯楽、レクリエーション	その他	無回答
全体 (カッコ内は標本数)	100.0 (593)	31.5 (187)	13.8 (82)	15.2 (90)	9.3 (55)	12.3 (73)	46.9 (278)	7.4 (44)	2.0 (12)
性別									
男性	281	35.2	5.7	8.9	6.4	19.2	44.5	6.0	2.5
女性	312	28.2	21.2	20.8	11.9	6.1	49.0	8.7	1.6
年齢別									
20歳代	90	45.6	13.3	3.3	5.6	8.9	58.9	3.3	1.1
30歳代	89	41.6	10.1	4.5	5.6	7.9	50.6	3.4	-
40歳代	103	47.6	9.7	7.8	3.9	15.5	46.6	4.9	2.9
50歳代	99	37.4	13.1	15.2	9.1	18.2	39.4	6.1	-
60歳代	117	17.1	17.1	18.8	12.0	14.5	44.4	7.7	5.1
70歳以上	95	3.2	18.9	40.0	18.9	7.4	43.2	18.9	2.1
ブロック別									
東部A	27	33.3	7.4	11.1	3.7	11.1	48.1	7.4	-
東部B(田主丸)	15	26.7	6.7	6.7	6.7	-	26.7	26.7	6.7
北部A	62	37.1	4.8	8.1	6.5	9.7	48.4	4.8	1.6
北部B(北野)	27	40.7	14.8	14.8	7.4	11.1	51.9	-	3.7
中央東部	83	20.5	14.5	15.7	12.0	15.7	54.2	10.8	1.2
南東部	58	27.6	22.4	29.3	22.4	8.6	46.6	8.6	1.7
中央部	117	29.1	19.7	19.7	7.7	14.5	47.0	5.1	0.9
中央南部	120	39.2	12.5	12.5	6.7	10.0	45.8	8.3	0.8
南西部	48	31.3	6.3	10.4	6.3	14.6	50.0	6.3	4.2
西部A(城島)	12	25.0	16.7	16.7	16.7	33.3	8.3	8.3	-
西部B(三瀬)	24	33.3	16.7	8.3	8.3	12.5	41.7	4.2	12.5

(3) 公共交通機関の満足度

久留米市内の公共交通機関の満足度は 44.7%。

問 34 あなたは、久留米市内の鉄道、バスなどの公共交通機関の現状に対して、どの程度満足していますか。(あてはまる番号に1つだけ○印)



◆属性別特徴

【性別】男性は『満足』が女性よりやや高い。

【年齢別】年齢による『満足』の差は少ないが、年齢が上がるほど『不満』が低くなる傾向にある。

【ブロック別】中央部、中央南部は『満足』が5割を超えて他の地域より高い。東部B、西部Aは『不満』が『満足』を上回っている。

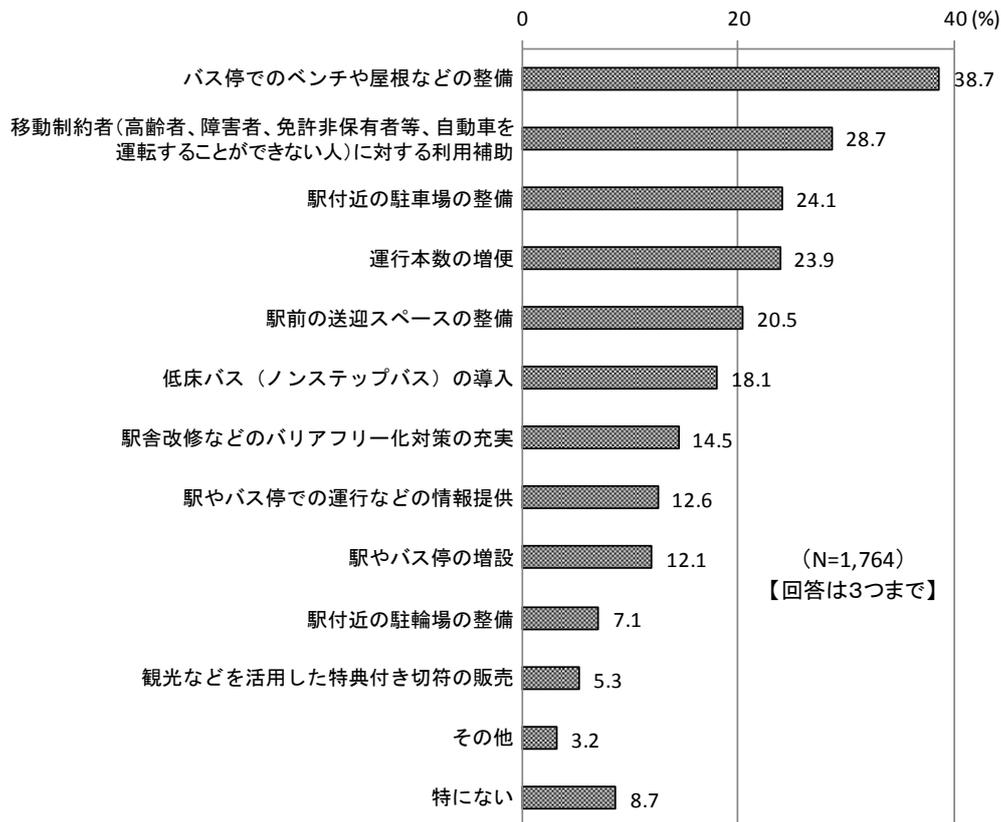
【利用頻度別】利用頻度が上がるほど『満足』が高くなる傾向にある。利用していないでは半数以上が「わからない」と答えている。

	標本数 (票)	公共交通機関の満足度 (%)						『満足』	『不満』
		満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	無回答		
全体 (カッコ内は標本数)	100.0 (1,764)	17.9 (315)	26.8 (472)	19.5 (344)	7.8 (137)	25.6 (451)	2.6 (45)	44.7 (787)	27.3 (481)
性別									
男性	829	19.9	26.3	18.1	7.2	25.3	3.1	46.2	25.3
女性	935	16.0	27.2	20.7	8.2	25.8	2.0	43.2	28.9
年齢別									
20歳代	182	17.0	28.0	22.5	9.9	20.9	1.6	45.0	32.4
30歳代	281	14.6	27.8	21.7	7.1	27.8	1.1	42.4	28.8
40歳代	317	16.1	28.7	21.1	9.5	22.4	2.2	44.8	30.6
50歳代	290	17.6	24.5	23.4	10.0	22.8	1.7	42.1	33.4
60歳代	439	18.2	26.7	15.5	6.4	29.6	3.6	44.9	21.9
70歳以上	255	23.9	25.1	15.3	4.7	26.7	4.3	49.0	20.0
ブロック別									
東部A	128	14.1	25.8	26.6	7.8	24.2	1.6	39.9	34.4
東部B(田主丸)	109	10.1	19.3	17.4	14.7	36.7	1.8	29.4	32.1
北部A	161	13.0	24.8	24.2	7.5	24.2	6.2	37.8	31.7
北部B(北野)	118	15.3	24.6	20.3	9.3	28.8	1.7	39.9	29.6
中央東部	223	21.5	28.3	17.9	4.0	26.0	2.2	49.8	21.9
南東部	176	21.6	25.0	20.5	5.1	26.1	1.7	46.6	25.6
中央部	236	26.7	28.8	14.4	5.9	22.5	1.7	55.5	20.3
中央南部	298	18.8	31.9	18.1	7.0	21.1	3.0	50.7	25.1
南西部	147	16.3	27.9	20.4	9.5	25.2	0.7	44.2	29.9
西部A(城島)	70	2.9	12.9	25.7	17.1	34.3	7.1	15.8	42.8
西部B(三潁)	98	16.3	29.6	16.3	9.2	26.5	2.0	45.9	25.5
利用頻度別									
月1日以上	593	22.3	33.6	25.8	9.9	6.2	2.2	55.9	35.7
年に数日程度	648	20.2	31.6	20.5	6.0	21.1	0.5	51.8	26.5
利用していない	496	10.5	13.5	11.3	7.9	54.8	2.0	24.0	19.2
無回答	27	-	3.7	7.4	-	18.5	70.4	3.7	7.4

(4) 公共交通機関の利用促進のための環境整備

「バス停でのベンチや屋根などの整備」が38.7%で1位。
70歳以上の高齢者では「移動制約者（自動車を運転できない人）への利用補助」が1位。

問 35 あなたが、高齢になっても鉄道、バスなどの公共交通機関を利用するためには、どのような取り組みを進めることが望ましいと思いますか。次の中から優先したいものを3つまで（2つ以内でもかまいません）選び、番号に○印をつけてください。



◆属性別特徴

【性別】女性は「バス停のベンチなどの整備」「移動制約者の利用補助」「運行本数の増便」が男性より高く、男性は「駅付近の駐車場整備」「駅付近の駐輪場整備」が女性より高い。

【年齢別】年齢が下がるほど「バス停のベンチなどの整備」「バリアフリー化対策の充実」などが、年齢が上がるほど「移動制約者の利用補助」が高くなる傾向にある。

【ブロック別】東部A、南東部、中央南部で「バス停のベンチなどの整備」、東部B、北部B、西部Aで「駅付近の駐車場整備」、東部A、西部Bで「移動制約者の利用補助」、西部Aで「運行本数の増便」が他の地域より高い。

【利用頻度別】月に1日以上では、「バス停のベンチなどの整備」「低床バス（ノンステップバス）の導入」「運行本数の増便」が利用していない人よりやや高い。

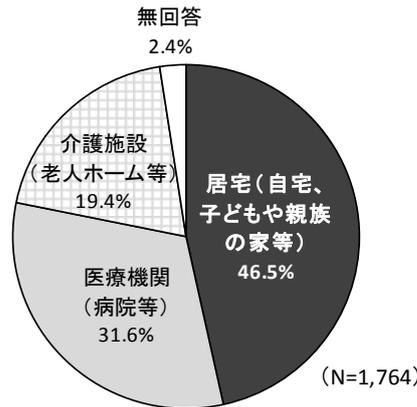
	標本数 (票)	高齢になっても公共交通機関を利用するために必要な取り組み (%)														
		駅前の送迎スペースの整備	駅付近の駐車場の整備	駅付近の駐輪場の整備	バス停でのベンチや屋根などの整備	リハビリ化対策などの充実	駅舎改修などのバリアフリー	低床バス(ノンステップバス)の導入	観光などを活用した特典付き切符の販売	移動制約者(高齢者、障害者、免許非保有者等、自動車運転することができない人)に対する利用補助	情報提供	駅やバス停での運行などの	駅やバス停の増設	運行本数の増便	その他	特にない
全体 (カッコ内は標本数)	100.0 (1,764)	20.5 (362)	24.1 (426)	7.1 (126)	38.7 (682)	14.5 (256)	18.1 (320)	5.3 (94)	28.7 (506)	12.6 (222)	12.1 (213)	23.9 (421)	3.2 (57)	8.7 (154)	1.9 (33)	
性別																
男性	829	20.4	26.5	9.3	34.5	14.1	18.2	4.8	26.7	13.0	11.6	21.0	3.0	10.7	1.7	
女性	935	20.6	22.0	5.2	42.4	14.9	18.1	5.8	30.5	12.2	12.5	26.4	3.4	7.0	2.0	
年齢別																
20歳代	182	23.6	20.9	9.9	44.0	18.1	17.0	4.9	14.8	13.7	14.8	28.0	4.4	11.5	2.2	
30歳代	281	18.1	22.1	6.4	46.6	16.4	19.2	2.5	27.4	16.0	14.6	27.8	2.8	8.9	1.1	
40歳代	317	20.8	23.3	6.6	41.3	15.8	18.6	5.0	29.0	14.2	16.1	31.2	4.1	2.8	1.3	
50歳代	290	23.4	23.4	8.3	40.3	14.8	21.7	5.9	28.6	12.4	13.8	26.2	3.4	4.1	1.7	
60歳代	439	23.2	28.7	6.4	33.0	13.4	17.1	5.5	32.3	9.8	9.1	19.1	1.6	11.2	2.1	
70歳以上	255	12.5	22.7	6.7	30.6	9.8	14.9	8.2	33.3	11.0	5.5	12.9	4.3	14.9	3.1	
ブロック別																
東部A	128	16.4	18.8	3.9	46.1	6.3	18.8	6.3	35.2	9.4	14.1	23.4	3.1	9.4	1.6	
東部B(田主丸)	109	15.6	30.3	7.3	36.7	8.3	13.8	6.4	30.3	11.9	7.3	23.9	4.6	11.0	1.8	
北部A	161	25.5	24.8	9.9	37.9	14.9	19.9	4.3	27.3	13.0	9.9	25.5	4.3	8.7	3.1	
北部B(北野)	118	26.3	33.1	1.7	31.4	16.9	19.5	1.7	23.7	10.2	11.9	27.1	1.7	10.2	1.7	
中央東部	223	16.1	28.3	10.3	38.1	15.7	20.2	5.4	25.6	13.0	13.0	18.8	3.6	9.4	2.2	
南東部	176	18.8	20.5	3.4	44.9	13.1	18.2	8.5	31.8	9.7	10.8	19.3	2.8	11.4	1.7	
中央部	236	18.6	16.1	8.5	35.6	14.4	25.4	5.1	24.2	16.1	9.7	21.6	5.1	9.7	1.7	
中央南部	298	22.5	22.1	8.7	43.6	16.4	15.4	6.0	30.2	14.8	14.1	24.8	2.0	5.7	2.3	
南西部	147	23.8	27.2	9.5	35.4	19.7	13.6	4.8	30.6	10.2	12.9	23.8	2.7	8.2	0.7	
西部A(城島)	70	15.7	30.0	5.7	35.7	8.6	14.3	2.9	25.7	11.4	18.6	40.0	-	8.6	1.4	
西部B(三潁)	98	26.5	26.5	2.0	30.6	19.4	13.3	4.1	33.7	13.3	12.2	28.6	4.1	5.1	1.0	
利用頻度別																
月に1日以上	593	21.4	22.3	9.1	42.2	14.7	21.4	6.2	28.3	15.0	12.8	29.2	4.7	5.1	0.2	
年に数日程度	648	23.9	28.7	7.4	36.7	17.7	18.7	5.1	31.3	13.1	11.7	23.3	2.3	6.8	0.8	
利用していない	496	15.9	21.6	4.8	38.7	10.9	14.3	4.6	26.8	9.7	12.3	19.2	2.8	15.3	2.0	
無回答	27	3.7	3.7	-	7.4	-	3.7	3.7	7.4	-	-	7.4	-	14.8	63.0	

4-8 終末期医療

(1) 最期を迎えたい場所

最期を迎えたい場所は「居宅」が46.5%で最も高い。

問 36 少子高齢化が進む中で、人生の最終段階における療養場所の確保が重要な課題となっていますが、久留米市では、できるだけ住み慣れた地域で最期まで安心して暮らせるまちづくりに取り組んでいます。あなたが病気などで治る見込みがない状態になった場合、どこで療養生活を送り最期を迎えたいですか。(あてはまる番号に1つだけ○印)



◆属性別特徴

【性別】男性は「居宅」が女性より8.2ポイント高く、「介護施設」が6ポイント低い。

【性別・年齢別】男女とも年齢が下がるほど「居宅」が高くなる傾向にあり、年齢が上がるほど「医療機関」「介護施設」が高くなる傾向にある。男性50歳代は「医療機関」が45.1%と高い。

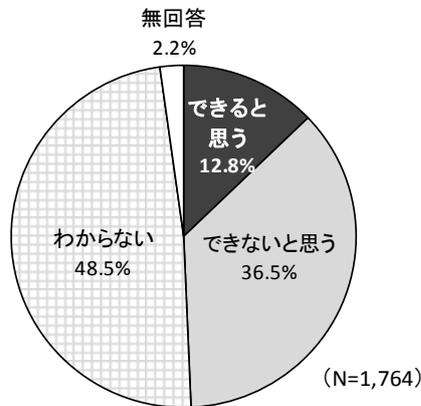
【家族形態別】親・子(2世代)と親・子・孫(3世代)では「居宅」が他の家族形態より高く、単身者では「医療機関」が40.9%で最も高い。

	標本数 (票)	最期を迎えたい場所 (%)			
		の子どもや親族、居宅(自宅等)	(医療機関等)	人介護施設(老人ホーム等)	無回答
全体 (カッコ内は標本数)	100.0 (1,764)	46.5 (821)	31.6 (558)	19.4 (342)	2.4 (43)
性別					
男性	829	50.9	30.3	16.2	2.7
女性	935	42.7	32.8	22.2	2.2
性別×年齢別					
男性:20歳代	89	53.9	25.8	20.2	-
男性:30歳代	148	61.5	27.7	9.5	1.4
男性:40歳代	143	55.9	29.4	12.6	2.1
男性:50歳代	113	42.5	45.1	9.7	2.7
男性:60歳代	216	46.3	25.5	22.7	5.6
男性:70歳以上	120	45.8	32.5	20.0	1.7
女性:20歳代	93	61.3	24.7	11.8	2.2
女性:30歳代	133	47.4	36.1	16.5	-
女性:40歳代	174	51.7	29.9	16.1	2.3
女性:50歳代	177	39.0	27.7	32.2	1.1
女性:60歳代	223	34.5	38.1	25.1	2.2
女性:70歳以上	135	31.9	37.0	25.2	5.9
家族構成別					
単身	181	34.3	40.9	21.5	3.3
夫婦のみ	356	41.6	28.9	27.5	2.0
親・子(2世代)	925	50.8	31.1	15.5	2.6
親・子・孫(3世代)	257	47.9	31.9	17.9	2.3
その他	40	40.0	25.0	35.0	-
無回答	5	40.0	20.0	40.0	-

(2) 自宅で最期を迎えることができるか

安心して居宅で療養し、最期を迎えることができると思う人は 12.8%。

問 37 あなた自身や同居の人が人生の最終段階を迎えた場合に、安心して居宅で療養し、最期を迎えることができますか。(あてはまる番号に1つだけ○印)



◆属性別特徴

【性別】男性は「できると思う」が女性より 8.1 ポイント高く、女性は「できないと思う」が男性より 6.8 ポイント高い。

【性別・年齢別】60 歳代男性と 50 歳代以上の女性で「できないと思う」が他の年齢層より高い。男女とも 40 歳代以下では「わからない」が 5 割を超えている。

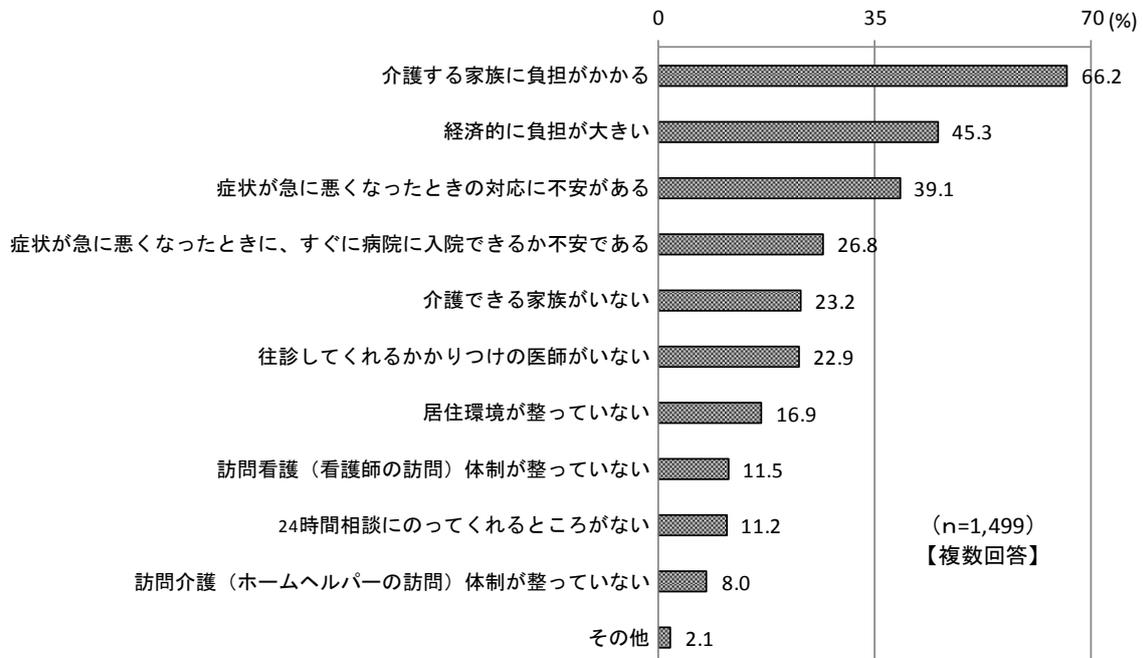
【家族形態別】単身者は「できると思う」が 1 割以下で他の家族形態より低い。

	標本数 (票)	安心して居宅で最期を迎えることができるか (%)			
		できる と思う	できない と思う	わからない	無 回答
全体 (カッコ内は標本数)	100.0 (1,764)	12.8 (226)	36.5 (644)	48.5 (855)	2.2 (39)
性別					
男性	829	17.1	32.9	47.8	2.2
女性	935	9.0	39.7	49.1	2.2
性別× 年齢別					
男性:20歳代	89	20.2	23.6	56.2	-
男性:30歳代	148	12.8	33.8	52.0	1.4
男性:40歳代	143	11.2	28.0	59.4	1.4
男性:50歳代	113	15.9	33.6	48.7	1.8
男性:60歳代	216	19.4	39.4	37.5	3.7
男性:70歳以上	120	24.2	32.5	40.0	3.3
女性:20歳代	93	8.6	36.6	53.8	1.1
女性:30歳代	133	8.3	31.6	59.4	0.8
女性:40歳代	174	9.8	31.6	56.9	1.7
女性:50歳代	177	4.5	46.3	46.9	2.3
女性:60歳代	223	10.3	45.3	42.2	2.2
女性:70歳以上	135	12.6	42.2	40.0	5.2
家族 構成 成別					
単身	181	9.4	37.6	48.6	4.4
夫婦のみ	356	15.4	39.0	43.8	1.7
親・子(2世代)	925	11.4	34.8	52.0	1.8
親・子・孫(3世代)	257	17.5	36.6	42.8	3.1
その他	40	7.5	47.5	45.0	-
無回答	5	20.0	40.0	40.0	-

(3) できない、わからないと思う理由

「介護する家族に負担がかかる」が66.2%で1位。
 単身者では「介護できる家族がない」が47.4%で最も高い。

問 37 付問 **問 37 で 2 または 3 に回答した人に** できない、わからないと思う理由は何ですか。
 あなたの考えに近いものを選んでください。(あてはまる番号にいくつでも○印)



◆属性別特徴

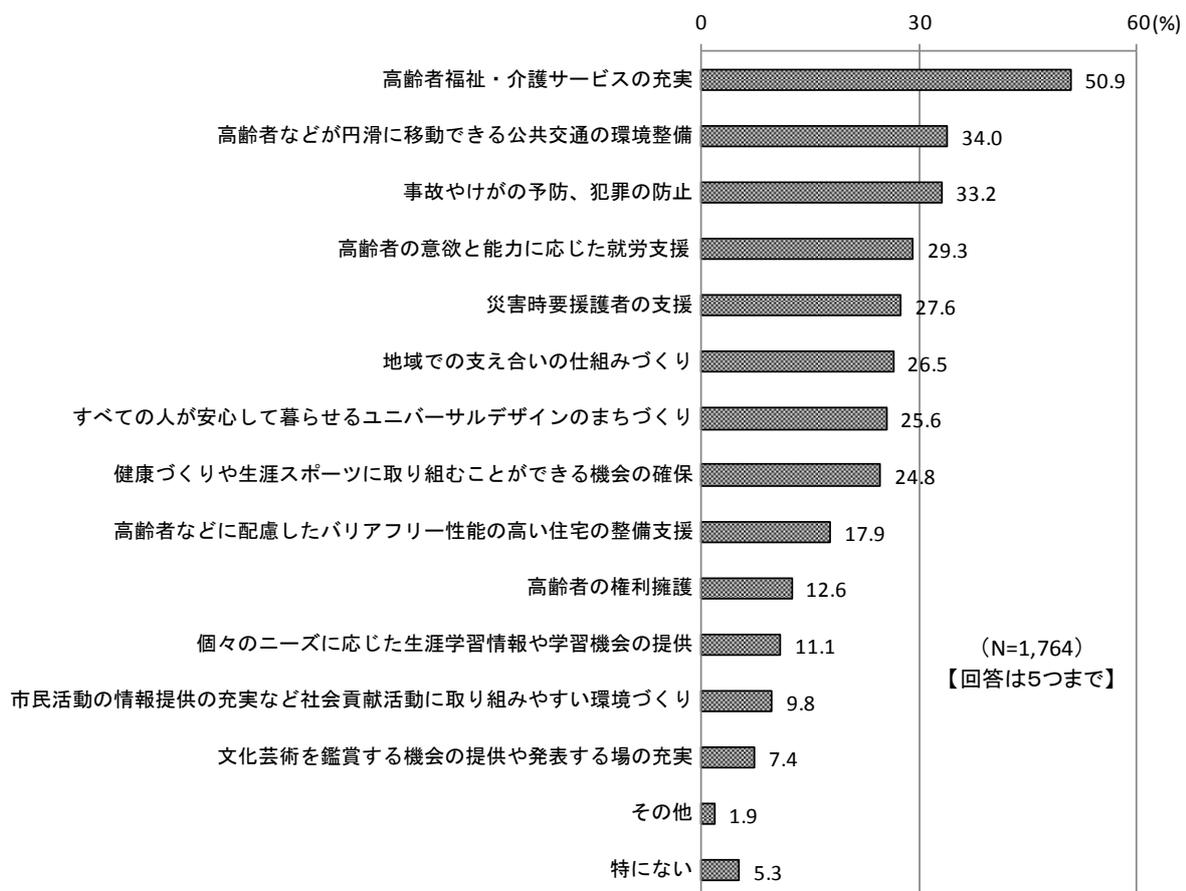
- 【性別】女性は「家族に負担がかかる」「症状が急に悪くなったときの対応に不安がある」「居住環境が整っていない」などが男性より高い。
- 【性別・年齢別】男女ともすべての年齢層で「介護する家族に負担がかかる」が最も高く、特に女性の30～60歳代では7割を超えている。20歳代女性と30・40歳代男女で「経済的負担が大きい」、70歳以上女性は「介護できる家族がない」が他の年齢層より高い。男女とも年齢が下がるほど「居住環境が整っていない」が高くなっている。
- 【ブロック別】東部A、西部Bでは「往診してくれるかかりつけの医師がない」、西部Aでは「介護できる家族がない」「介護する家族に負担がかかる」「症状が急に悪くなったときに、すぐに病院に入院できるか不安である」「経済的負担が大きい」が他の地域より高い。
- 【家族構成別】単身者では「介護できる家族がない」、それ以外の家族形態では「介護する家族に負担がかかる」が最も高くなっている。

		標本数(票)	居宅で最期を迎えることができない、わからない理由(%)										その他	無回答
			往診の医師がいないか	訪問看護(看護師の訪問)が整っていない	訪問介護(ホームヘルパー)が整っていない	24時間相談の場所がない	介護できる家族がいない	介護する家族に負担がかかる	症状が急に悪くなったと	できるかすぐに病院に入院できるか	症状が急に悪くなったと	居住環境が整っていない		
全体	(カッコ内は標本数)	100.0 (1,499)	22.9 (344)	11.5 (173)	8.0 (120)	11.2 (168)	23.2 (348)	66.2 (992)	39.1 (586)	26.8 (401)	16.9 (254)	45.3 (679)	2.1 (32)	1.7 (26)
性別														
	男性	669	22.4	10.2	7.0	8.8	22.7	61.0	35.7	23.6	12.7	46.3	1.9	1.8
	女性	830	23.4	12.7	8.8	13.1	23.6	70.4	41.8	29.3	20.4	44.5	2.3	1.7
性別×年齢別														
	男性:20歳代	71	16.9	7.0	4.2	5.6	14.1	53.5	33.8	16.9	25.4	47.9	7.0	1.4
	男性:30歳代	127	17.3	11.8	10.2	6.3	15.7	58.3	33.9	22.0	16.5	52.8	1.6	2.4
	男性:40歳代	125	26.4	11.2	7.2	10.4	21.6	65.6	36.8	23.2	15.2	52.8	-	0.8
	男性:50歳代	93	25.8	5.4	4.3	14.0	29.0	57.0	36.6	19.4	10.8	48.4	1.1	1.1
	男性:60歳代	166	21.1	12.0	7.8	9.6	26.5	65.1	30.7	24.7	7.2	42.8	2.4	1.8
	男性:70歳以上	87	27.6	10.3	5.7	5.7	27.6	60.9	47.1	34.5	5.7	31.0	1.1	3.4
	女性:20歳代	84	22.6	14.3	9.5	13.1	17.9	61.9	40.5	25.0	31.0	51.2	2.4	4.8
	女性:30歳代	121	17.4	14.0	9.9	12.4	17.4	70.2	47.1	28.1	24.0	51.2	0.8	0.8
	女性:40歳代	154	24.7	11.7	9.7	16.9	24.0	75.3	42.9	24.0	22.7	50.6	4.5	1.3
	女性:50歳代	165	27.3	13.9	10.9	15.8	23.0	75.2	43.6	32.7	23.0	44.8	1.2	0.6
	女性:60歳代	195	26.2	11.8	7.2	9.2	23.1	71.8	38.5	31.3	13.3	39.5	1.5	2.1
	女性:70歳以上	111	18.0	10.8	5.4	11.7	36.0	60.4	38.7	32.4	13.5	31.5	3.6	1.8
ブロック別														
	東部A	108	28.7	5.6	4.6	11.1	18.5	64.8	42.6	30.6	18.5	45.4	0.9	3.7
	東部B(田主丸)	86	14.0	7.0	4.7	11.6	22.1	73.3	34.9	26.7	17.4	43.0	-	1.2
	北部A	138	23.2	10.9	7.2	10.1	22.5	67.4	39.9	21.7	14.5	49.3	2.9	0.7
	北部B(北野)	97	10.3	13.4	6.2	10.3	20.6	74.2	42.3	24.7	16.5	47.4	5.2	-
	中央東部	186	22.6	11.8	8.1	10.2	23.1	64.0	40.9	29.6	14.5	47.3	1.1	1.1
	南東部	156	25.0	16.7	10.3	14.7	23.1	67.9	30.8	23.7	17.9	43.6	4.5	1.3
	中央部	194	23.7	14.4	10.8	9.3	25.3	57.2	42.8	26.3	18.6	41.2	2.1	2.6
	中央南部	267	24.3	9.7	7.1	15.4	25.1	65.9	37.8	30.0	16.9	44.2	1.9	2.2
	南西部	124	24.2	14.5	8.9	8.9	22.6	59.7	40.3	25.8	16.1	44.4	-	2.4
	西部A(城島)	57	22.8	8.8	8.8	5.3	31.6	80.7	38.6	35.1	15.8	57.9	-	1.8
	西部B(三瀨)	86	27.9	9.3	9.3	8.1	19.8	72.1	39.5	18.6	20.9	43.0	4.7	1.2
家族構成別														
	単身	156	23.1	10.3	10.9	10.3	47.4	41.7	35.9	26.9	12.2	42.3	2.6	1.3
	夫婦のみ	295	27.1	11.5	6.1	9.5	27.8	64.4	39.0	27.1	13.6	36.3	1.7	1.7
	親・子(2世代)	803	22.2	12.8	8.6	12.5	19.3	68.1	41.0	26.8	17.7	47.9	2.5	1.6
	親・子・孫(3世代)	204	18.1	8.8	7.4	7.4	11.8	79.4	35.8	27.0	21.1	48.5	1.0	2.5
	その他	37	27.0	2.7	-	18.9	32.4	64.9	32.4	16.2	27.0	56.8	2.7	2.7
	無回答	4	75.0	25.0	25.0	50.0	25.0	100.0	25.0	75.0	-	25.0	-	-

4-9 超高齢社会に向け取り組むべき施策

久留米市に、特に取り組んで欲しいことは「高齢者福祉・介護サービスの充実」が50.9%で1位。「高齢者などが円滑に移動できる公共交通機関の環境整備」と「事故やけがの予防、犯罪の防止」が3割を超えて上位。

問 38 超高齢社会を迎えた今、久留米市は、「人と人が支えあい、住み慣れた地域で健康・安心に暮らし続けられるまち」を目指しています。今後、久留米市は、どのようなことに特に取り組むべきだと思いますか。次の中から5つまで（4つ以内でもかまいません）選び、番号に○印をつけてください。



◆属性別特徴

【性別】男性は「事故やけがの予防など」が女性より高く、女性は「高齢者福祉・介護サービスの充実」「公共交通の環境整備」が男性より高い。

【年齢別】20歳代で「事故やけがの予防など」「ユニバーサルデザインのまちづくり」、40・50歳代で「高齢者の就労支援」「公共交通の環境整備」、40歳代以上で「高齢者福祉・介護サービスの充実」、70歳以上で「災害時要援護者の支援」が他の年齢層より高い。

【ブロック別】全ての地域で「高齢者福祉・介護サービスの充実」が最も高く、特に東部Bと中央東部で高い。北部Bで「健康づくりや生涯スポーツに取り組む機会の確保」、南西部で「高齢者の就労支援」「公共交通の環境整備」、西部Aで「バリアフリー性能の高い住宅の整備支援」が他の地域より高い。

【家族形態別】 いずれの家族形態でも「高齢者福祉・介護サービスの充実」が最も高く、特に単身者と夫婦のみで高い。

【同居家族別】 65 歳以上の方がいる世帯では「高齢者福祉・介護サービスの充実」、65 歳以上の方がいない世帯では「事故やけがの予防など」「高齢者の就労支援」「ユニバーサルデザインのまちづくり」がそれぞれ他の世帯より高い。

	標本数(票)	超高齢社会を迎えた今、久留米市が取り組むべきこと (%)																		
		高齢者の権利擁護	事故やけがの予防、犯罪の	災害時要援護者の支援	学習情報や学習機会への提供	個々のニーズに応じた生涯	文化芸術を鑑賞する機会の充実	文化芸術を鑑賞する機会の充実	会場の確保	健康づくりや生涯スポーツ	みどりや環境づくり	市民活動の提供	地域での支え合いの仕組み	高齢者福祉・介護サービスの充実	高齢者の意欲と能力に応じた就労支援	高齢者などが円滑に移動できる公共交通の環境整備	高齢者などのユニバーサルデザインの高品質な住宅の整備	すべての人が安心して暮らせるまちづくり	その他	特にな
全体 (カッコ内は標本数)	100.0 (1,764)	12.6 (222)	33.2 (585)	27.6 (486)	11.1 (195)	7.4 (131)	24.8 (438)	9.8 (172)	26.5 (468)	50.9 (898)	29.3 (517)	34.0 (599)	17.9 (316)	25.6 (451)	1.9 (33)	5.3 (94)	7.9 (140)			
性別																				
男性	829	12.3	35.7	26.7	11.5	6.0	26.5	10.0	25.5	46.3	29.3	30.2	18.3	24.0	1.6	6.9	8.8			
女性	935	12.8	30.9	28.3	10.7	8.7	23.3	9.5	27.5	55.0	29.3	37.3	17.5	27.0	2.1	4.0	7.2			
年齢別																				
20歳代	182	8.2	40.1	25.3	13.7	9.9	23.1	7.7	23.1	35.7	23.6	26.9	18.1	35.7	2.2	11.5	4.9			
30歳代	281	9.6	38.4	24.6	10.7	9.6	27.4	7.8	28.8	40.6	31.7	29.2	20.3	27.8	2.1	5.3	6.4			
40歳代	317	10.4	37.5	24.0	11.0	6.9	25.6	14.5	28.4	52.1	39.4	36.6	16.7	25.9	3.5	3.5	5.7			
50歳代	290	9.7	28.6	26.6	15.2	6.6	24.1	13.8	26.2	55.9	37.9	42.1	19.7	24.8	1.7	3.1	7.6			
60歳代	439	16.9	30.3	29.2	8.9	6.8	25.7	8.4	26.0	57.9	23.2	34.4	17.5	21.6	0.7	4.3	9.3			
70歳以上	255	17.6	27.1	35.3	8.6	5.9	21.6	5.1	25.5	54.1	18.8	31.0	15.3	23.1	1.6	7.5	12.5			
ブロック別																				
東部A	128	7.8	32.0	20.3	9.4	3.1	20.3	5.5	27.3	50.0	26.6	26.6	19.5	29.7	1.6	7.0	12.5			
東部B(田主丸)	109	7.3	29.4	29.4	7.3	7.3	21.1	11.0	32.1	57.8	25.7	37.6	13.8	16.5	0.9	3.7	10.1			
北部A	161	13.0	29.8	24.2	18.6	9.9	25.5	15.5	28.6	47.2	30.4	28.6	19.9	25.5	2.5	4.3	5.6			
北部B(北野)	118	15.3	33.1	31.4	10.2	5.9	31.4	9.3	25.4	48.3	23.7	29.7	12.7	26.3	3.4	5.9	12.7			
中央東部	223	13.9	36.3	31.8	9.9	5.4	22.4	9.0	22.4	57.0	33.6	31.4	20.6	21.1	1.8	5.8	6.7			
南東部	176	10.2	34.1	23.3	8.0	6.3	18.2	8.0	25.6	52.8	26.7	35.2	18.8	23.3	2.3	6.3	9.1			
中央部	236	14.0	33.9	30.1	11.4	9.7	26.7	9.3	25.4	46.2	26.7	33.1	14.4	28.0	1.3	7.6	5.9			
中央南部	298	14.4	35.2	30.9	13.4	9.4	28.2	10.7	27.5	53.0	26.5	34.9	18.5	29.9	2.0	4.7	6.4			
南西部	147	10.9	31.3	19.7	9.5	8.8	25.2	8.8	27.2	49.0	41.5	44.2	17.0	27.9	-	6.1	6.1			
西部A(城島)	70	11.4	34.3	31.4	12.9	4.3	24.3	7.1	27.1	51.4	30.0	35.7	27.1	35.7	2.9	-	7.1			
西部B(三潁)	98	16.3	29.6	26.5	7.1	6.1	28.6	11.2	26.5	43.9	32.7	39.8	17.3	14.3	3.1	2.0	11.2			
家族構成別																				
単身	181	18.8	30.4	33.1	13.3	8.3	22.7	11.0	20.4	56.9	27.1	29.8	18.2	30.4	-	6.6	6.1			
夫婦のみ	356	14.6	31.2	29.8	8.4	6.7	27.2	9.0	23.0	54.8	23.3	36.8	17.1	24.2	1.1	5.3	10.1			
親・子(2世代)	925	11.0	33.9	25.3	11.5	7.7	24.8	9.7	29.3	48.9	31.8	35.0	17.6	26.8	2.6	4.6	7.5			
親・子・孫(3世代)	257	11.3	35.4	30.0	10.9	6.6	23.7	9.7	26.5	48.2	31.5	28.8	18.3	20.6	1.2	7.4	7.0			
その他	40	12.5	32.5	20.0	12.5	7.5	20.0	10.0	25.0	60.0	20.0	37.5	27.5	20.0	2.5	2.5	12.5			
無回答	5	-	20.0	20.0	40.0	20.0	40.0	20.0	-	-	40.0	20.0	20.0	20.0	20.0	-	20.0			
同居家族別																				
世帯の中に65～74歳の方がいる	601	14.3	29.6	29.0	10.1	6.8	24.0	8.8	26.0	53.4	26.0	34.3	18.0	22.8	1.0	6.3	9.5			
世帯の中に75歳以上の方がいる	382	13.1	32.2	33.8	11.3	6.8	25.4	7.9	26.2	58.9	23.6	37.2	16.0	20.4	1.3	5.0	8.4			
世帯の中に65歳以上の方がいない	889	10.8	36.2	25.6	10.8	8.1	25.0	10.8	27.0	46.9	33.3	33.1	18.8	29.9	2.5	4.7	6.9			
無回答	10	30.0	20.0	20.0	30.0	-	20.0	20.0	20.0	50.0	20.0	10.0	20.0	30.0	10.0	10.0	10.0			

考察 — 超高齢社会のまちづくり —

久留米市では、平成27年に策定した「久留米市新総合計画 第3次基本計画」において、基本的視点の一つとして「超高齢社会など時代を見据えた都市の構築」を掲げている。そこでは、社会基盤施設（インフラ）の整備だけではなく、自助、共助、公助の役割分担による社会全体で支え合いや高齢者が活躍できる機会や場所の創出など、人口減少と超高齢社会を見据えた総合的な都市づくりの必要性について指摘している。

本調査では、「超高齢社会のまちづくり」を今年度のテーマとして、高齢期の健康づくりや文化活動、地域での支え合い活動など、多面的な視点から質問・分析を行った。

●高齢者が多様な働き方ができる就労機会の充実と環境整備を

一般的に何歳頃から高齢者だと思うかたずねた質問では、「70歳以上」が約4割で最も高く、通常使用される高齢者の定義である「65歳以上」は1割台半ば、「60歳以上」とあわせても2割強に過ぎず、多くの人は、60歳代はまだ高齢者ではないと考えているようである。

また、7割以上の人は60歳以降も何らかの形で働きたいと考えているが、働き方の希望としては「1週間のうち3日程度働きたい」が4割弱、「短時間でほぼ毎日働きたい」が約2割と高くなっており、フルタイム以外での働き方を希望する人が多い。

高齢者の就労を推進するために重要だと思う取り組みとしても、「短時間勤務など、多様な働き方ができる企業の環境整備を支援する」が最も高く、5割を超える人が回答している。「柔軟な働き方」については、高齢者の就労促進だけではなく、ワーク・ライフ・バランスや女性活躍推進の観点からも今後ますます需要が高まる可能性がある。企業の積極的な取り組みを推進するよう、行政としても支援策を検討されたい。

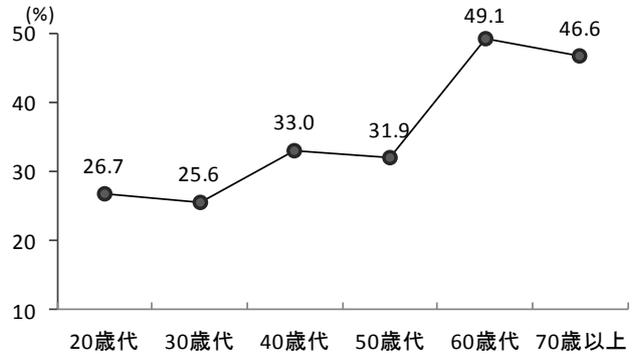
職業別では、「給与所得者（常勤）」は「フルタイムでほぼ毎日働きたい」が、「パート・アルバイト」では「1週間のうち3日程度働きたい」がやや高くなっており、現在と同様の働き方を続けたいと思っている人が多いことがうかがえる。一方、「家事に専念」「無職」の人でも「1週間のうち3日程度働きたい」が4割弱に上っており、現在収入を伴う仕事をしていない人でも将来的には（再）就職し、60歳以降も働きたいと考えている人が多いことが分かる。また、「パート・アルバイト」では高齢者の就労を推進するための取り組みとして、「高齢者の就職相談窓口などの就労支援を充実する」が高くなっている。パート等では期間を定めた雇用であることが多いため、高齢期の就職に不安を抱える人が多いものと推測される。現在職についていない人や非正規雇用の人のための就労支援を充実していく必要があるだろう。

●気軽に取り組めるラジオ体操とウォーキング 若い年代からの取り組みを

久留米市では市民の健康づくり支援の一環として、ラジオ体操やウォーキングなど、気軽にできる運動を推奨している。それらの運動に関心があるかでは、「どちらにも関心がある」が4割超となっていた。また、「どちらにも」と回答した人を含めると、ラジオ体操に関心がある人は約5割、ウォーキングに関心がある人は7割超で、特にウォーキングへの関心が高かった。性別×年代別で見ると、女性はどの年代でもラジオ体操、ウォーキングのどちらか、または両

方に関心がある人が8割を超えているが、男性は50歳代以下で2割超から3割超が「どちらにも関心がない」と回答しており、特に20・30歳代男性で高い。一方、これらの運動を普段の生活の中で行っているかどうかでは、男女とも年齢が下がるほど実施率が低くなる傾向がみられた。平成24年度の市民意識調査でも、若い年代ほど日常的にスポーツをする人が少ないという結果が出ていた。それには意識の問題に加え、仕事や家事・育児等で時間が取れないという事情もあると考えられる。ラジオ体操は短い時間や狭いスペースでもでき、またウォーキングは買い物や通勤のついでに行うことが可能であり、気軽に行える運動として普及を図ることで、現役世代からの健康づくりへの取り組みの促進にもつながると考えられる。ラジオ体操やウォーキングを普及させるための取り組みとしては、

■年齢別にみた週1日以上運動やスポーツを行う人の割合
(平成24年調査)



「公園や道路の整備など、取り組みやすい環境づくりを行う」が最も高く、特にウォーキングに関心がある人で高くなっていた。また、これらの運動の実施率が高い年齢の高い層よりも、30・40歳代からの要望が高くなっており、特にウォーキングの普及促進を図るうえでは、街路灯や歩道の整備など道路の安全対策を進めることが重要だと考えられる。また、年齢が低い層や、18歳未満の子どもがいる人では「子どものころからの取り組みを促進する」が高くなる傾向がみられた。また、これらの運動の実施率が低い30歳代では、年齢の低い層の中では「校区コミュニティなどでの取り組みを促進する」が比較的高くなっていた。身近な地域において、子どものころから、あるいは家族でこれらの運動に取り組めるような仕組みを導入することは、若い年代の関心を高めることにつながるのではないだろうか。

●文化芸術や生涯学習活動を通じた高齢期の生きがいづくりや孤立防止策の促進を

文化芸術に関して、高齢期になっても鑑賞したいもの、活動したいものについてたずねた。鑑賞したいものとしては、「音楽」「美術」「映像文化」「演劇・演芸」がいずれも4割台で高くなっていた。活動したいものとしては、「生活文化」と「美術」が2割を超えているが、それ以外は1割程度かそれ以下であり、鑑賞ほどには積極的ではなかった。

また、鑑賞、活動ともに、性別で意向にかなり差がみられた。まず鑑賞については、「映像文化」を除くすべての項目で女性の鑑賞意向が高く、特に「演劇・演芸」「舞踊」「生活文化」で差が大きかった。また、「鑑賞したいものはない」は女性の約1割に対し、男性は約2割となっていた。活動に関しては鑑賞ほど性別による差はないが、「生活文化」は女性の3割台半ばが活動意向を持っているのに対し、男性は1割強と差が大きかった。また、「活動したいものはない」も男性は女性より10ポイント以上高くなっていた。高齢期の文化芸術活動に関しては、女性の方がより積極的な傾向がみられる結果であった。

平成25年度の市民意識調査で文化芸術活動の鑑賞・活動意向についてたずねている。鑑賞、活動ともに上位項目に大きな違いはないが、上位項目を選択した割合では今回調査の方が高い傾向がみられる。平成25年度の調査は「今後の」意向をたずねたものであるが、今回調査は「高

齢になって」の意向をたずねているものである。いつ鑑賞、活動したいかの対象時期が違うため厳密には比較できないが、現時点では鑑賞や活動に積極的ではないが、高齢になってから鑑賞、活動したいと考える人が一定数いるのではないかと推測される。

■文化芸術活動の鑑賞・活動意向(平成25年調査)

	美術	音楽	演劇・演芸	舞踊	伝統芸能	生活文化	映像文化	文芸	その他	はしらないもの	鑑賞・活動	無回答
鑑賞したいもの	30.1	29.4	26.9	9.0	13.4	11.3	27.7	3.1	0.7	17.9	16.2	
活動したいもの	14.1	9.0	4.1	3.9	1.7	12.9	6.4	2.1	0.7	43.2	20.0	

文化芸術活動を長く続けるために必要なこととしては、「受講料・参加料が安い」「一緒に活動する仲間がいる」が特に高くなっていった。「受講料・参加料が安い」は30～50歳代の女性で特に高いが、この年代の女性は鑑賞、活動したいものが「ない」とする率が低く、文化芸術活動への関心が高い層である。文化芸術活動には民間の企業・団体等によるものも多く、料金の軽減には限界もあろうが、市民の負担感を減らすことによる文化芸術活動の振興効果は期待できそうである。また、「一緒に活動する仲間がいる」は男女とも年齢の低い層で特に高くなっていった。友人同士で参加できるような企画の実施や、文化芸術活動を行っているサークルやグループについての情報の収集および提供を積極的に行うなど広報を充実することで、若い世代の関心を高めることができるのではないだろうか。また、現在の鑑賞・活動意向より高齢期での鑑賞・活動意向が高い背景には、スポーツへの取り組みと同様、時間的な余裕がないという事情もあると考えられる。高齢期の文化芸術活動の振興のためには、現役時代からの活動を活性化させることが効果的だと考えられるため、社会全体としてワーク・ライフ・バランス推進などにも積極的に取り組むことが必要だろう。

この3年間に生涯学習センターの講座を受講したことがある人は全体の約1割である。年齢が高くなるほど受講経験率が高くなる傾向がみられ、70歳代の男女では2割前後に上る。また、性別では女性は20歳代を除くすべての年代で受講経験率が1割を超えているが、男性は70歳代を除くすべての年代で1割に満たない。

生涯学習センターの講座を受講したことがない理由としては、「実施されている講座の開催時間帯や曜日に参加できないから」が3割台半ばで最も高いが、「どのような講座があるか知らなかった」「生涯学習センターを知らなかった」が3割弱に上っており、センターや講座の内容が周知されていないこともうかがえた。一方、「実施されている講座の内容に興味がなかったから」は2割弱で最も低く、生涯学習センターおよび講座内容の広報を充実したり、実施日時を設定を工夫することで、より幅広い層の市民の受講を促すことは期待できるかもしれない。

高齢期の文化芸術活動や生涯学習は、生きがいづくりや社会参画はもちろん、趣味の仲間づくりを通じた高齢者の孤立防止にも寄与すると考えられる。特に、男女共同参画の観点からは女性に比べて男性は地域でのつながりをつくりにくいとの指摘があり、男性の文化芸術活動や生涯学習への参加促進策を検討することが望まれる。

●地域住民による自助・共助の取組みの促進を

高齢者支援のボランティア活動について、最近5年間に参加経験がある人は約1割だが、今

後何らかの形で地域での支え合い活動に参加したいと考える人は4割台半ばに上った。定期的に参加したいという人は少ないものの、単発的な活動であれば協力できると考えている人は多くみられた。取り組みそうな活動としては、「声かけ、安否確認」「ゴミ出しの手伝い」「高齢者集いの場（サロン活動）での手伝い」「買い物の手伝い」等が上位に挙がっており、「庭そうじ」「在宅の生活援助（室内の掃除、食事の介助）」の回答率は低くなっていた。住宅や敷地内に長く滞在する必要があるものに対しては、支え合い活動として取り組むには敷居が高い印象があるのかもしれない。また、「病院などの付き添い」「買い物の手伝い」など外出に関する支援は年齢が低い層での回答率が高い傾向がみられた。今後、地域住民による高齢者支援活動を拡大するにあたっては、比較的短時間で取り組めるものや高齢者の住宅以外での活動など、取り組みやすそうなものから支援の輪を広げていくことが必要だろう。

防災に関しては、地域の自主防災組織を知らない人は約6割、災害時要援護者名簿を知らない人は8割超となっていた。質問の仕方は異なるが、平成23年度および平成26年度の市民意識調査で自主防災組織の活動についての認知をたずねた際、活動が「行われているかどうか知らない」という人がともに6割を占めていた。本調査の実施時期は熊本地震の約3ヶ月後であり、市民の防災意識が高まっている時期ではと思われたが、自主防災組織の認知度はこの5年間でほとんど変化していないことがうかがえた。また、災害時要援護者名簿の認知度は、世帯の中に高齢者がいる人や自治会に加入している人でも2割程度にとどまっていた。久留米市の災害時要援護者名簿では「65歳以上のみで居住している方」を対象に含む。本調査では単身世帯の4割台半ば、夫婦のみ世帯の5割超を65歳以上の回答者が占めている。しかし、家族構成別の災害時要援護者名簿の認知度は、「単身」で1割台半ば、「夫婦のみ」で2割程度にすぎず、名簿の対象となる可能性が高い層に認知されていない状況がうかがえた。災害発生時に困難な状況に陥りやすい人が地域において必要な支援や情報を受けられるよう、自主防災組織や災害時要援護者名簿の周知の徹底が望まれる。

■地域で自主防災組織の活動が行われているかの認知
(平成23年、平成26年調査)

	標本数 (票)	よく 行わ れて い	てど いき るど き 行わ れ	てほ いと なん いど 行わ れ	ど行 うわ か 知 ら な い か	無 回 答
平成26年	1,748	8.2	20.7	9.1	58.6	3.3
平成23年	1,764	7.0	19.6	11.7	59.6	2.1

■家族構成別にみた災害時要援護者名簿の認知

	標本数 (票)	知 つ て い る	知 ら な い	無 回 答
全体 (カッコ内は標本数)	100.0 (1,764)	15.6 (275)	83.3 (1,469)	1.1 (20)
単身	181	14.9	84.5	0.6
夫婦のみ	356	20.2	78.7	1.1
親・子(2世代)	925	13.6	85.2	1.2
親・子・孫(3世代)	257	17.1	81.7	1.2
その他	40	10.0	90.0	-
無回答	5	40.0	40.0	20.0

●利用状況に応じた公共交通の利便性向上と環境整備を

公共交通機関を月に1日以上利用する人は全体の約3分の1だが、年齢や居住地域によって利用頻度にかなり差がみられる。年齢別では、月1日以上利用する人は20歳代で5割弱と最も高く、70歳以上も4割弱とやや高い。一方、60歳代では月1日以上の利用者は2割台と低い。ブロック別では中央部の利用頻度が最も高く、月1日以上利用する人が約5割だが、東部Bや西部Aでは1割台である。

利用頻度別に満足度をみると、利用頻度の高い人ほど『満足』も『不満』もともに高くなる傾向がみられた。これは利用頻度の低い人は「わからない」という回答が増えるため、普段

利用しないために判断がつかないということであろう。また、利用頻度の区分をより細かくしてみると、「週に5日以上」と最も利用頻度が高い人では「不満」が2割を超えて高くなっていた。また、「週に5日以上」の人では高齢になっても公共交通機関を利用するために必要な取り組みとして「運行本数の増便」が他の層に比べて目立って高くなっていた。毎日利用する必要があるのに運行本数が十分でなく不便であると感じているのではないか。

また、利用頻度が「月に1日以下」の人では「駅付近の駐車場の整備」がやや高かった。これは駅まで自家用車で移動し、鉄道に乗り換えるという利用の仕方が多いためではないかと推測され、送迎を含めた駅周辺の環境の整備が公共交通機関の利用促進につながる可能性があると考えられる。

ブロック別では、利用頻度が高い中央部の『満足』は高く、『不満』は低い。一方で、利用頻度が低い東部B、西部Aでは『満足』が低く、『不満』が高くなっており、特に西部Aで顕著である。

これらの地域では、近くを路線バス等が通っていないなかったり、運行本数が少ないなどの理由で利用しづらいため、不満を感じているのではないかと推測される。公共交通機関の利用頻度が低い人には、利用の必要性を感じていない人と、利用したいが利用できない人がいると考えられ、公共交通機関の利用促進を図るにあたっては、利用者の状況を考慮する必要がある。

公共交通機関への満足度別に公共交通機関利用のために必要なことをみると、満足度が低い人ほど「運行本数の増便」や「駅やバス停の増設」が高く、公共交通機関の利便性向上への要望を強く持っている。一方、満足度が高い人では「バス停でのベンチや屋根などの整備」や「移

■利用頻度別にみた公共交通機関の満足度

	標本数(票)	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	無回答
全体 (カッコ内は標本数)	100.0 (1,764)	17.9 (315)	26.8 (472)	19.5 (344)	7.8 (137)	25.6 (451)	2.6 (45)
公共交通機関の利用頻度別の	週に5日以上	113	19.5	35.4	21.2	21.2	2.7
	週に2~4日程度	70	25.7	31.4	30.0	7.1	4.3
	週に1日程度	65	24.6	35.4	24.6	7.7	7.7
	月に2,3日程度	206	21.8	32.5	30.6	7.8	4.4
	月に1日程度	139	22.3	33.8	20.9	6.5	12.2
	年に数日程度	648	20.2	31.6	20.5	6.0	21.1
	利用していない 無回答	496 27	10.5 -	13.5 3.7	11.3 7.4	7.9 -	54.8 18.5

■利用頻度別、満足度別にみた高齢になっても公共交通機関を利用するための取り組み

	標本数(票)	駅前送迎スペースの整備	駅付近の駐車場の整備	駅付近の駐輪場の整備	バス停でのベンチや屋根などの整備	リノベーションなどの充実	駅舎改修などのバリアフリー	低床バス(ノンステップバス)の導入	付き切符の販売	観光などを活用した特典	い人)に対する利用補助	車を運転する非保有者等、移動制約者(高齢者、障害者)に対する利用補助	駅やバス停での運行などの情報提供	駅やバス停の増設	運行本数の増便	その他	特にな	無回答
全体 (カッコ内は標本数)	100.0 (1,764)	20.5 (362)	24.1 (426)	7.1 (126)	38.7 (682)	14.5 (256)	18.1 (320)	5.3 (94)	28.7 (506)	12.6 (222)	12.1 (213)	23.9 (421)	3.2 (57)	8.7 (154)	1.9 (33)			
公共交通機関の利用頻度別の	週に5日以上	113	23.9	17.7	13.3	41.6	22.1	29.2	3.5	15.9	18.6	10.6	38.9	7.1	3.5	-		
	週に2~4日程度	70	15.7	14.3	8.6	48.6	18.6	27.1	2.9	34.3	12.9	14.3	31.4	5.7	7.1	-		
	週に1日程度	65	12.3	12.3	10.8	41.5	18.5	16.9	3.1	26.2	18.5	6.2	23.1	7.7	9.2	1.5		
	月に2,3日程度	206	28.2	21.4	6.3	40.3	10.2	21.4	8.3	28.6	14.6	15.0	30.1	2.4	4.9	-		
	月に1日程度	139	16.5	36.0	9.4	42.4	11.5	14.4	8.6	36.0	12.2	13.7	21.6	4.3	3.6	-		
	年に数日程度	648	23.9	28.7	7.4	36.7	17.7	18.7	5.1	31.3	13.1	11.7	23.3	2.3	6.8	0.8		
	利用していない 無回答	496 27	15.9 3.7	21.6 3.7	4.8 -	38.7 7.4	10.9 -	14.3 3.7	4.6 3.7	26.8 7.4	9.7 -	12.3 -	19.2 7.4	2.8 -	15.3 14.8	2.0 63.0		
満足度別の	満足	787	23.6	25.8	7.8	41.6	17.5	20.1	6.4	31.1	14.7	9.7	18.9	2.4	6.5	0.3		
	不満	481	18.5	23.7	8.5	38.7	11.0	17.3	4.6	28.5	11.2	22.7	4.2	6.4	3.3	0.6		
	わからない	451	17.7	22.0	4.7	35.7	14.4	16.6	4.7	25.3	10.6	5.8	15.5	1.3	18.8	2.0		
	無回答	45	15.6	22.2	6.7	17.8	-	8.9	2.2	22.2	8.9	4.4	8.9	2.2	4.4	42.2		

動制約者に対する利用補助」などが高く、より利用しやすい環境整備が求められていると考えられる。公共交通機関への不満の解消には利便性の向上、満足度の向上のためには快適に利用できる環境整備が必要だと思われる。

●医療という久留米市の強みを生かし、地域や家族状況に応じた支援策を

終末期については、自宅や子どもの家等の居宅で最期を迎えたいという人が4割台半ばで最も多かった。しかし、実際に自分自身や家族の最期を居宅で迎えることができると思う人は、1割強に過ぎなかった。家族構成別でみると、居宅で最期を迎えることが「できると思う」人は「単身」で約1割と最も低いが、「夫婦のみ」「親・子・孫（3世代）」でも2割弱にとどまった。

また、実際に居宅で最期を迎えることができると思うかは、性別で回答傾向に差がみられる。

女性は男性に比べて「できないと思う」との回答が多く、また、性別×年齢別でみると、30・40歳代は比較的性別による意識差が小さいものの、それ以外の年代では女性の方が「できないと思う」との回答が高かった。

居宅で最期を迎えられないと思う理由としては、全体では「介護する家族に負担がかかる」「経済的に負担が大きい」「症状が急に悪くなった時の対応に不安がある」などが高いが、「介護する家族に負担がかかる」は特に40・50歳代の女性で高くなっていた。この年代は親の介護に直面する年代でもあり、また介護を担うのは女性が多いという現状があることから、特にこの年代の女性で、自身が感じている負担

を家族にもかけてしまうのではとの懸念が強いものと推測される。また、男女とも年齢が低い層で「居住環境が整っていない」が高く、また、ブロック別では東部A、西部Bで「往診してくれるかかりつけの医師がいない」、西部Aで「介護できる家族がいない」「介護する家族に負担がかかる」「経済的に負担が大きい」「症状が急に悪くなったときに、すぐに病院に入院できるか不安である」が高いなど、年齢や居住地域によって抱える課題も異なっている。これは、居住環境や周辺の医療機関の状況、家族の状況などが異なるためと考えられる。

超高齢社会に向けて取り組むべき施策でも、「高齢者福祉・介護サービスの充実」が群を抜いて高くなっている。高齢化が進行するなか、在宅医療と介護の連携強化が図られつつあるが、解決すべき課題は山積している。久留米市は「医療や福祉が充実している」と感じている人が多いが、それでも安心して居宅で最期を迎えることができると思う人はわずかである。医療という久留米市の強みを生かしつつ、それぞれの地域や家族の状況に応じた支援策を実施できるよう、検討を期待する。

■性別・年齢別にみた居宅で最期を迎えられると思うか

			思 で う き る と	思 で き な い と	わ か ら な い	無 回 答
全体 (カッコ内は標本数)		100.0 (1,764)	12.8 (226)	36.5 (644)	48.5 (855)	2.2 (39)
性別 × 年齢別	男性:20歳代	89	20.2	23.6	56.2	-
	男性:30歳代	148	12.8	33.8	52.0	1.4
	男性:40歳代	143	11.2	28.0	59.4	1.4
	男性:50歳代	113	15.9	33.6	48.7	1.8
	男性:60歳代	216	19.4	39.4	37.5	3.7
	男性:70歳以上	120	24.2	32.5	40.0	3.3
	女性:20歳代	93	8.6	36.6	53.8	1.1
	女性:30歳代	133	8.3	31.6	59.4	0.8
	女性:40歳代	174	9.8	31.6	56.9	1.7
	女性:50歳代	177	4.5	46.3	46.9	2.3
	女性:60歳代	223	10.3	45.3	42.2	2.2
	女性:70歳以上	135	12.6	42.2	40.0	5.2

(分析者 武藤桐子)